

人権・男女共同参画に関する 市民意識調査報告書

令和2年3月

足利市

市民意識調査報告書

目次

I 調査の概要	
1 調査の目的	2
2 内容	2
3 調査対象等	2
4 調査項目	2
5 回収状況	2
6 報告書の見方	2
7 回答者の属性	3
II 調査結果	
【人権問題について】	
・人権問題全般	4
・同和問題	8
・人権問題への取り組みなど	12
【男女共同参画について】	
・男女の役割意識	13
・男女平等	17
・地域・社会参画	19
・ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	22
・女性が働くこと	24
・男女間の暴力	27
・性的少数者(LGBT)	30
・男女共同参画への取り組みなど	34
III 足利市へのご意見など	35
IV 資料	
・調査票	39

調査の概要

1 調査の目的

本市における人権問題や男女共同参画に関する市民意識の現状・変化を把握し、人権・男女共同参画行政を推進するための基礎資料とするため実施した。

2 内容

前回の意識調査(平成 26(2014)年度に実施)と比較対象ができる内容としつつ、現代的課題を考慮した上で、「問い」の項目、内容等を整理し、調査を実施した。

3 調査対象等

- (1)対象者 令和元(2019)年9月1日現在、足利市に住民登録のある満 20 歳以上の市民。
- (2)対象者数 1,500 人(男女各 750 人)
- (3)抽出方法 住民基本台帳に基づき性別・年代別・丁町別に無作為抽出
- (4)調査方法 配布:郵送
回収:郵送・インターネットのいずれか(礼状兼督促状1回送付)
- (5)調査期間 令和元(2019)年9月 19 日～10 月 7 日

4 調査項目

- (1)人権問題 人権問題全般、同和問題、人権問題への取り組みなど。
- (2)男女共同参画 男女の役割意識、男女平等、地域・社会参画、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)、女性が働くこと、男女間の暴力、性的少数者(LGBT)、男女共同参画への取り組みなど。

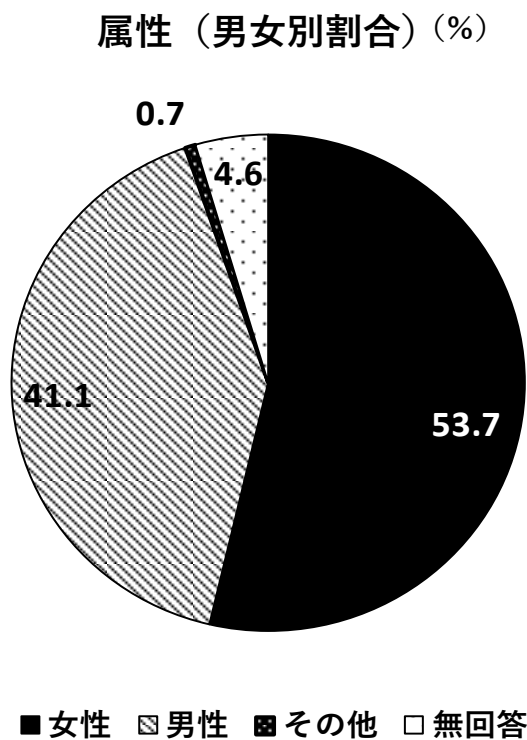
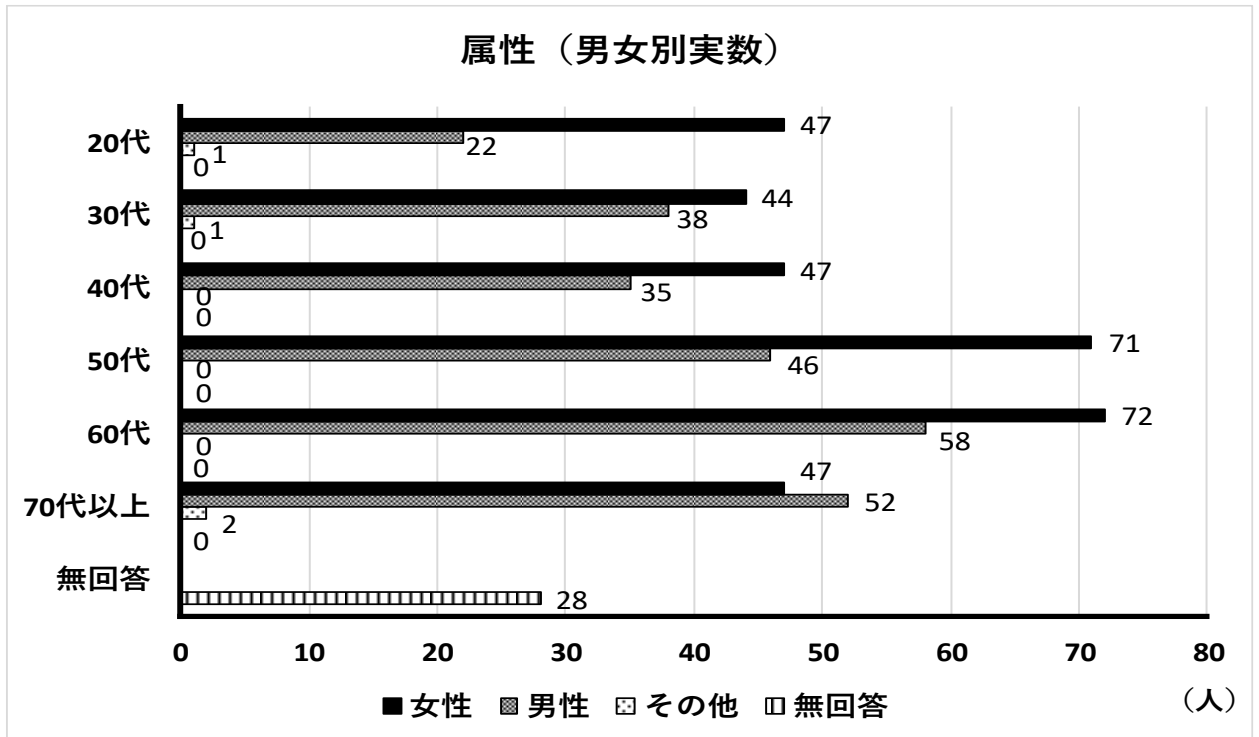
5 回収状況

回収数(率) 総回収数 611 件(40.7%)
〈内訳〉 郵送 561 件(37.4%)、インターネット:50 件(3.3%)

6 報告書の見方

- (1)回答比率は、小数点第二位を四捨五入して算出した。
- (2)複数回答のある集計は、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- (3)前回以前の調査等との比較に当たっては、その比率の差は「ポイント」と表記した。
- (4)性別については、性的少数者を考慮し、選択肢に「その他」を新設した。

7 回答者の属性



	(実数)					(%)				
	合計	女性	男性	その他	無回答	合計	女性	男性	その他	無回答
合計	611	328	251	4	28	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
20代	70	47	22	1	0	11.5	14.3	8.8	25.0	0.0
30代	83	44	38	1	0	13.6	13.4	15.1	25.0	0.0
40代	82	47	35	0	0	13.4	14.3	13.9	0.0	0.0
50代	117	71	46	0	0	19.1	21.6	18.3	0.0	0.0
60代	130	72	58	0	0	21.3	22.0	23.1	0.0	0.0
70代以上	101	47	52	2	0	16.5	14.3	20.7	50.0	0.0
その他・無回答	28	0	0	0	28	4.6	0.0	0.0	0.0	100.0

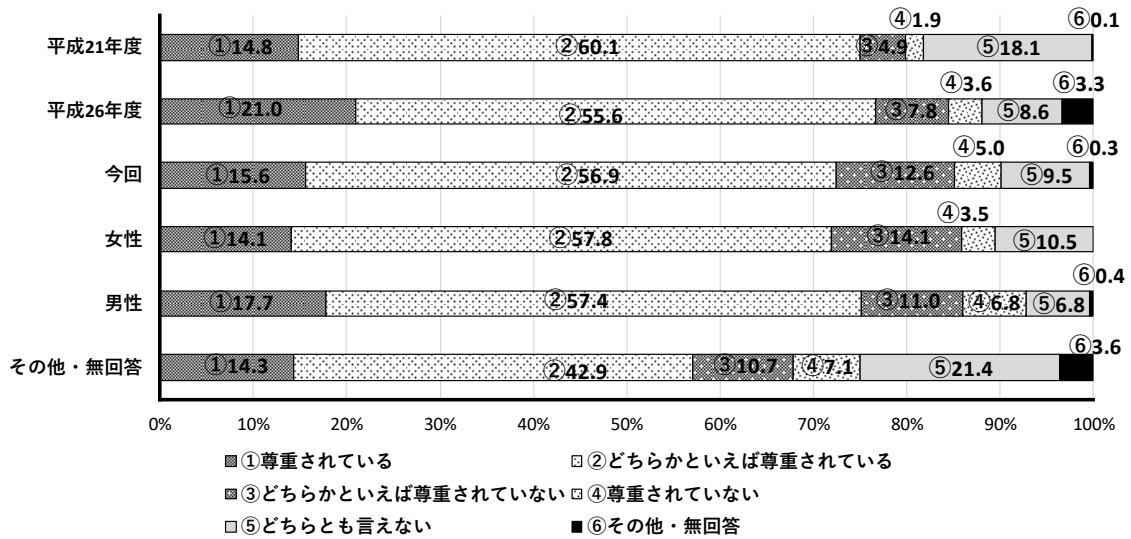
調査結果

人権問題について

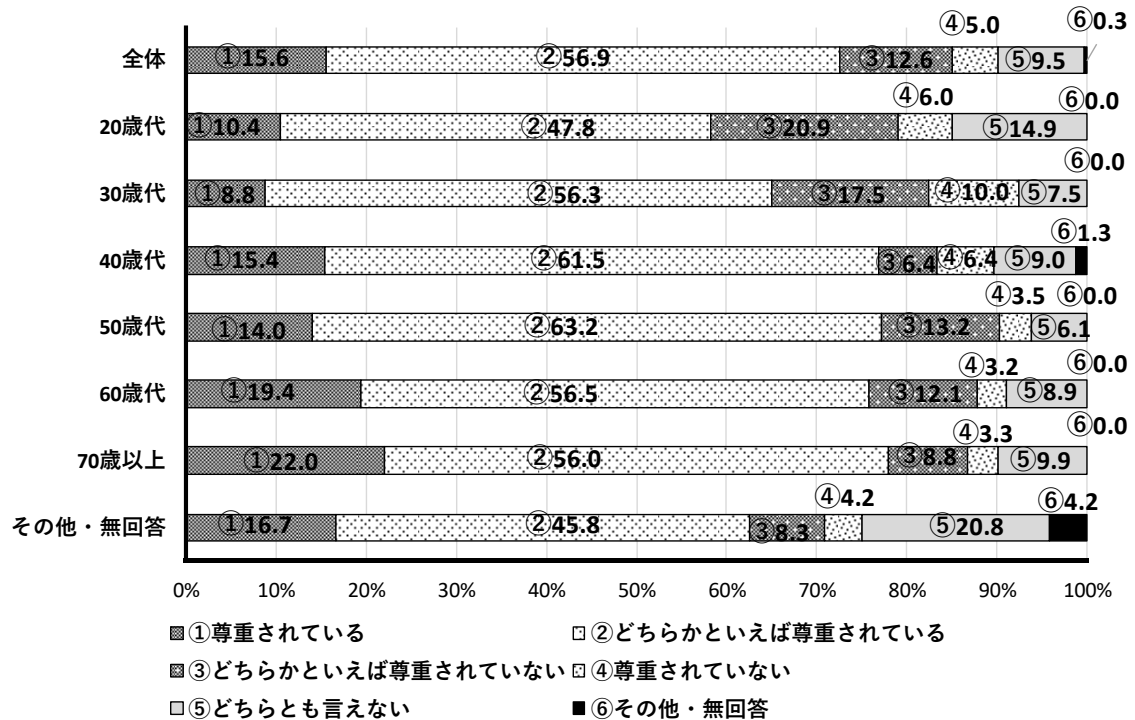
【人権問題全般】

問1 今の日本は人権(人間が生まれながらにして持っている自由・平等に関する権利)が尊重されている国だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

問1 男女別



問1 年代別



全体では、「①尊重されている」、「②どちらかといえば尊重されている」の合計が72.5%（前回比4.1ポイント減）を占めており、7割以上の方は、日本は人権が尊重されている国だと感じているようです。

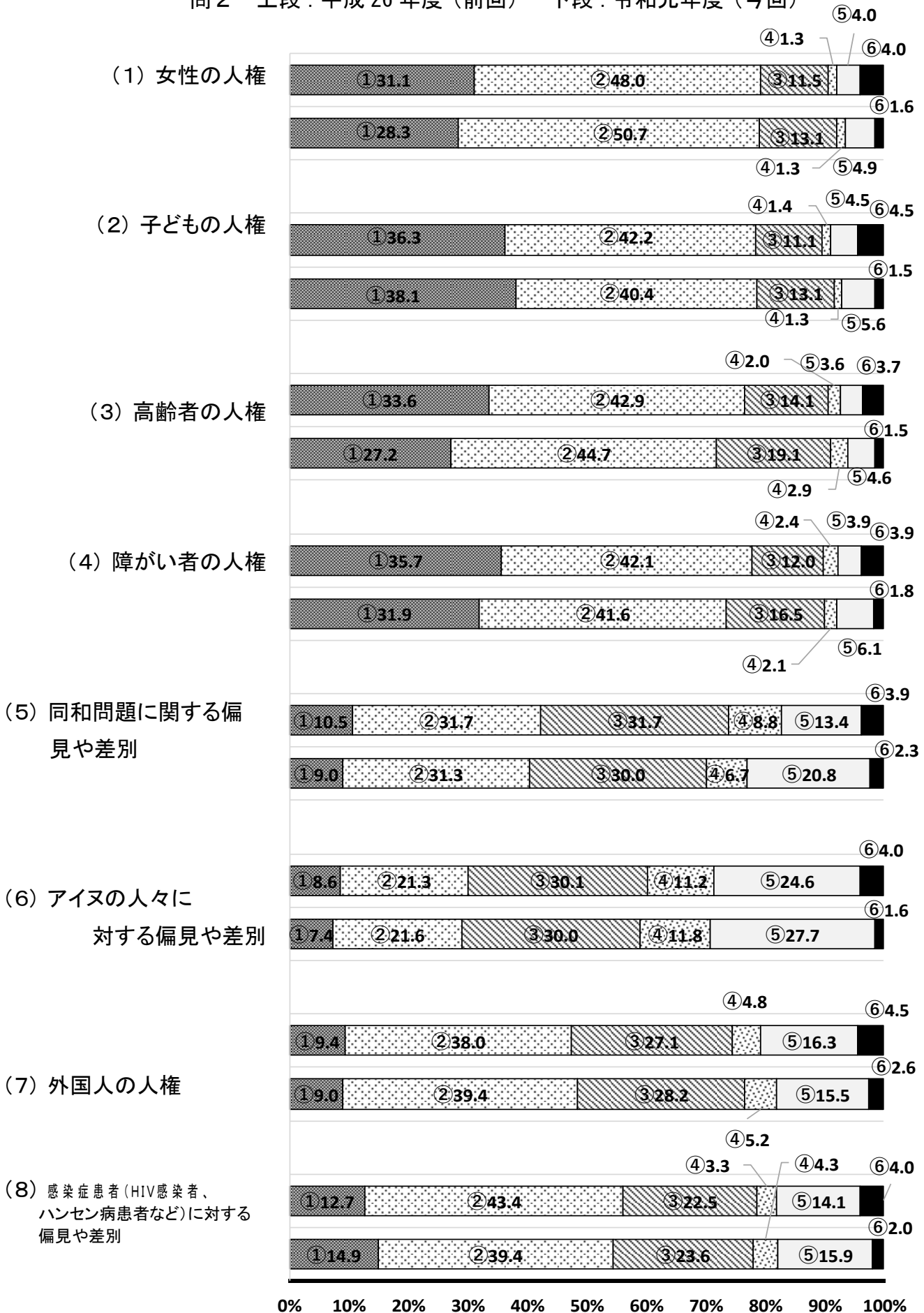
一方、「④尊重されていない」、「③どちらかといえば尊重されていない」の合計が17.6%（前回比6.2ポイント増）であることから、全体の2割弱の方は、人権が尊重されていない国だと感じていることが読み取れます。

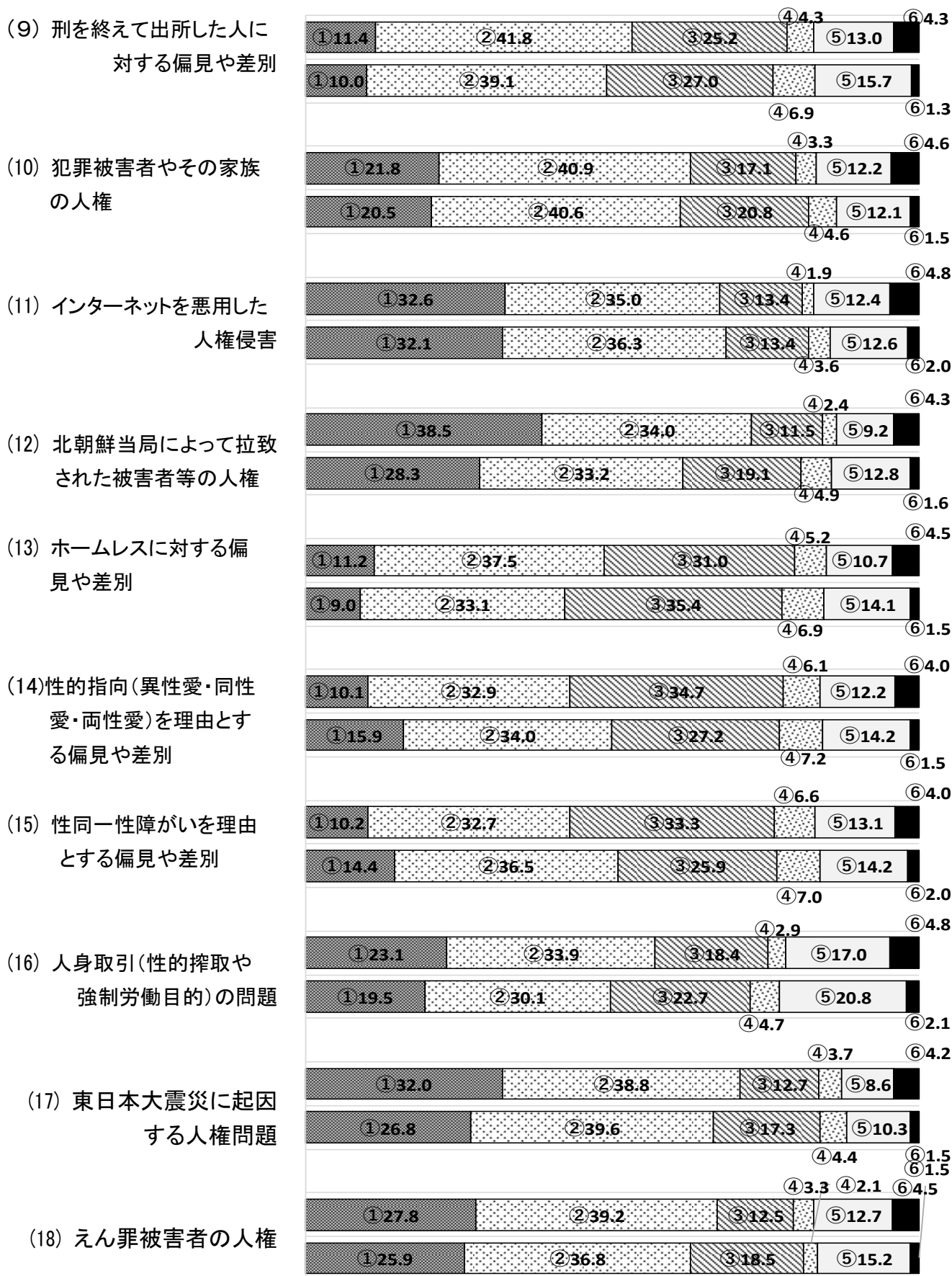
男女別では、「①尊重されている」は女性の14.1%に対し、男性は17.7%で3.6ポイント高くなっています。

年代別では、「①尊重されている」は30歳代が8.8%で最も低く、70歳以上が22.0%で最も高く、その差は13.2ポイントとなっています。

問2 次の(1)から(18)の人権問題について、どの程度関心をお持ちですか。

問2 上段：平成26年度（前回） 下段：令和元年度（今回）





0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

①とてもある
 ②すこしある
 ③あまりない
 ④全くない
 ⑤わからない
 ⑥その他・無回答

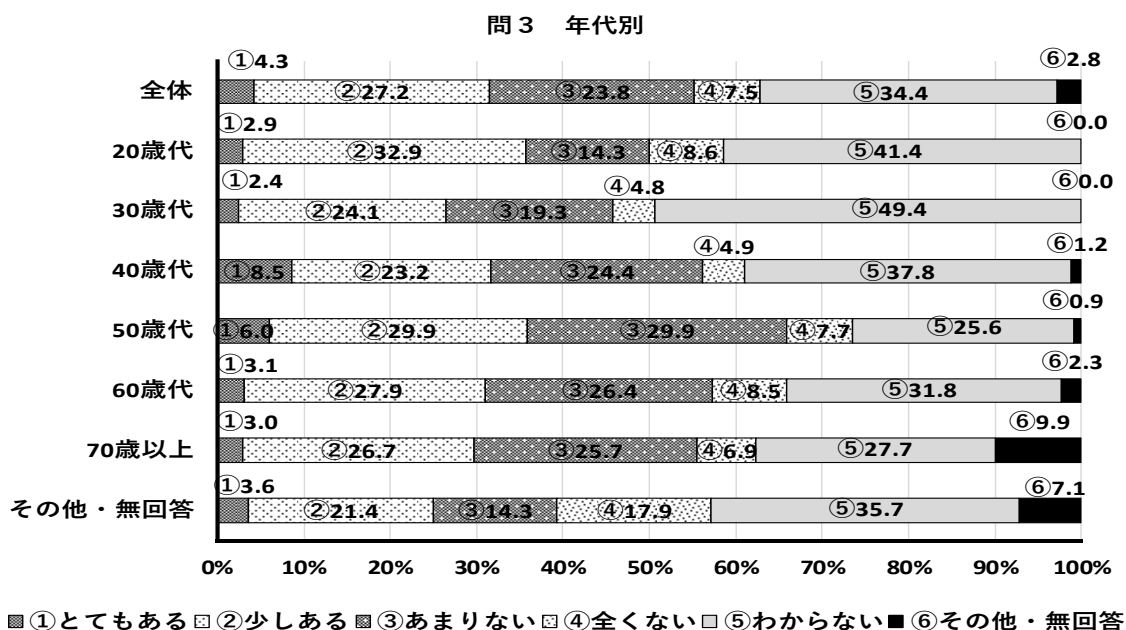
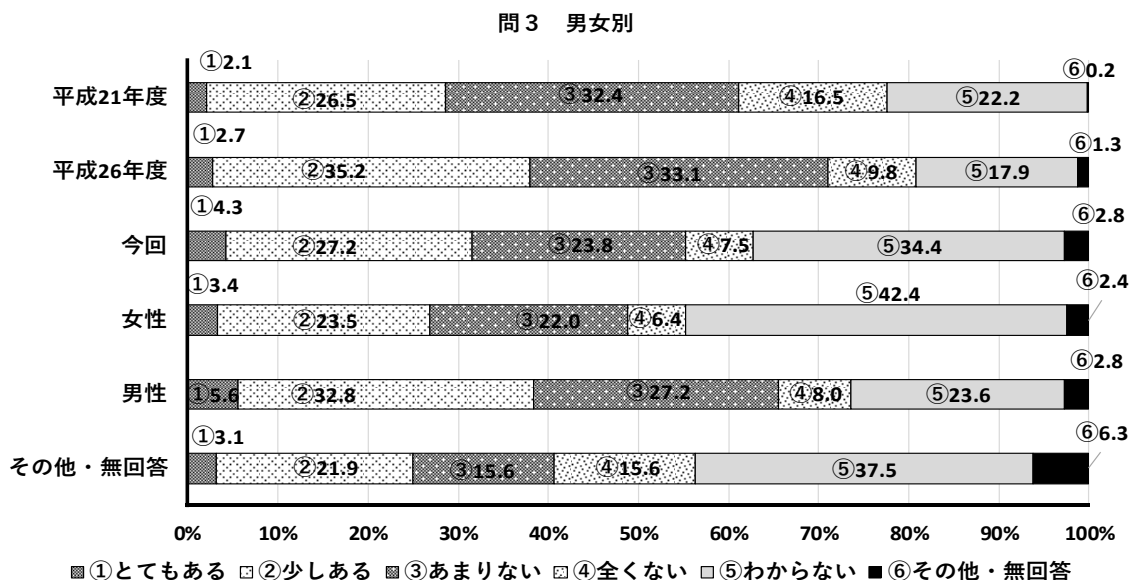
全体では、「①とてもある」、「②少しある」の合計で50%を超えた項目が、18項目中、11項目あり、「(1)女性の人権」が79.0%で最も高く、次いで、「(2)子どもの人権」が78.5%となっています。

一方、最も関心が低いと思われる項目は、「(6)アイヌの人々に対する偏見や差別」の29.0%で、その次の「(5)同和問題に関する偏見や差別」の40.3%と比較すると、11.3ポイントの差がありました。

全体的に様々な人権課題に対して、市民の関心度の高さがうかがえる結果ではありましたが、身近に関わる機会のある事柄やメディアで取り上げられる頻度の高いものほど関心度が高く、その他のものは関心度が低い結果となりました。

【同和問題】

問3 同和地区(被差別部落)の住民に対する差別が、今でもあると思いますか。
次の中から1つ選んでください。



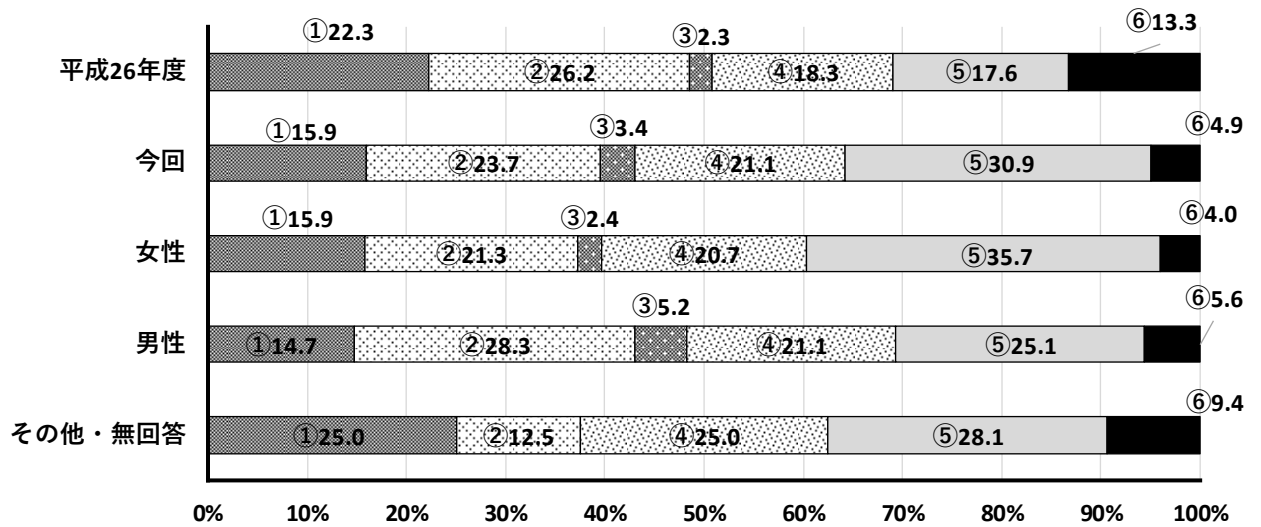
全体では、前回と比較し「①とてもある」、「②少しある」の合計が31.5%で、6.4ポイント減少し、一方で「③あまりない」、「④全くない」の合計も31.3%で、11.6ポイント減少しました。

男女別では、女性の「①とてもある」、「②少しある」の合計は、26.9%で、男性と比較し、11.5ポイント低くなり、女性は、「③あまりない」、「④全くない」の合計が28.4%で、男性と比較し、10.0ポイント低くなりました。一方、女性は、「⑤わからない」が42.4%で、男性に比べ、18.8ポイント高くなっています。

年代別では、50歳代は、「①とてもある」、「②少しある」の合計が35.9%と最も高く、「⑤わからない」は、20歳代から40歳代が高くなっています。

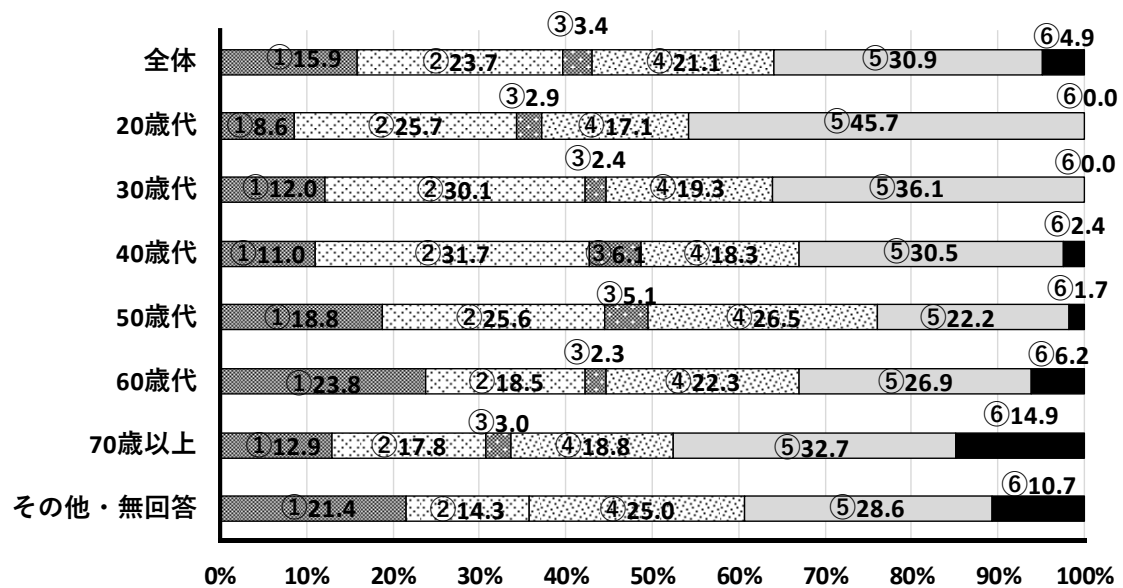
問4 同和問題とのかかわりについて、あなたの考えに近いものを次の中から1つ選んでください。

問4 男女別



- ① なりゆきに任せるしか仕方がない
- ② 国や市などが政策で解決する
- ③ 同和地区の人々だけの問題なので、自分とは直接関係ない問題である
- ④ 「基本的人権」にかかわる問題なので、この問題解決に努力したい
- ⑤ 同和問題のことは知らないのわからない
- ⑥ その他・無回答

問4 年代別



- ① なりゆきに任せるしか仕方がない
- ② 国や市などが政策で解決する
- ③ 同和地区の人々だけの問題なので、自分とは直接関係ない問題である
- ④ 「基本的人権」にかかわる問題なので、この問題解決に努力したい
- ⑤ 同和問題のことは知らないのわからない
- ⑥ その他・無回答

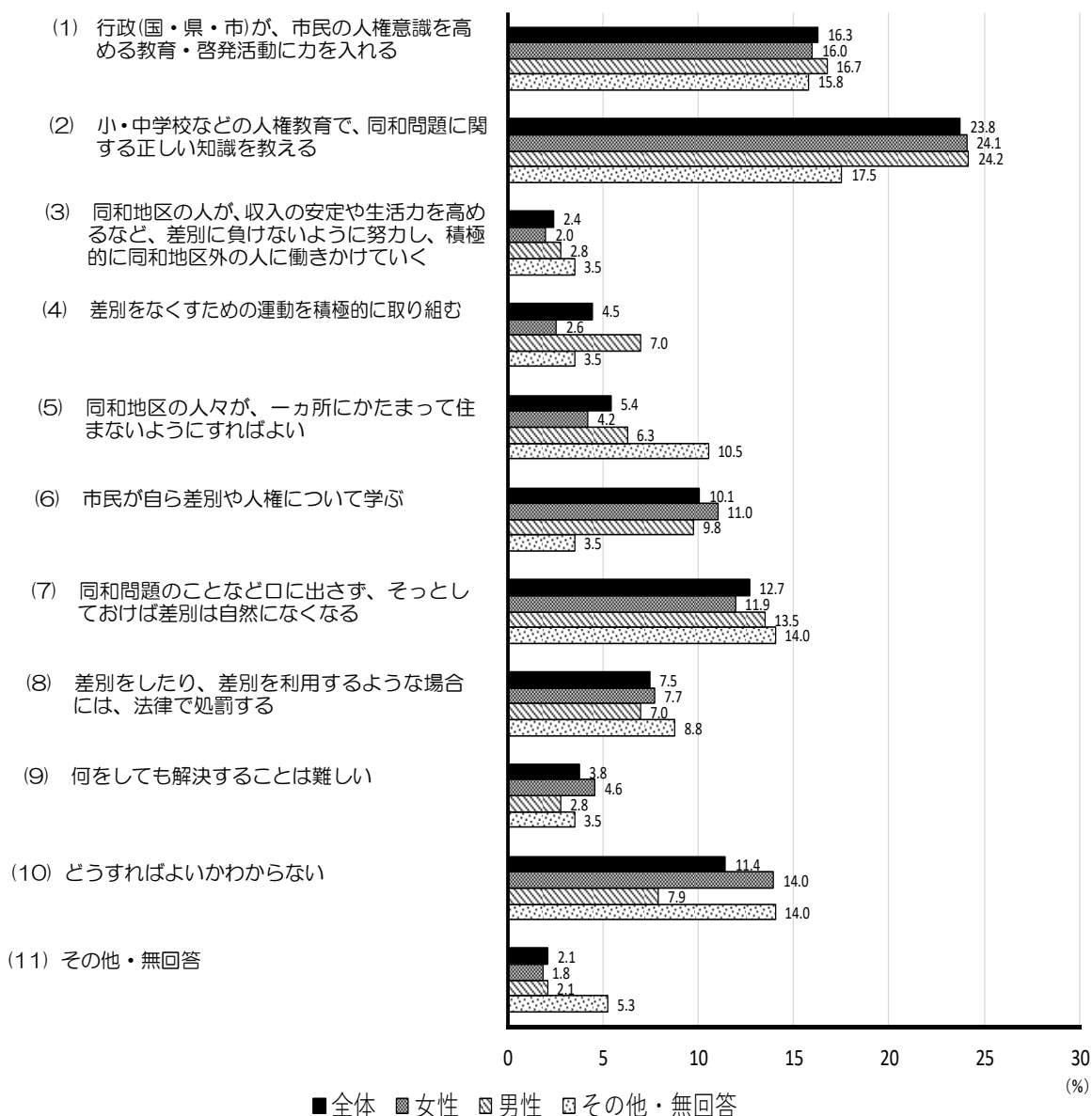
全体では、「⑤同和問題のことは知らないのでわからない」が30.9%で、最も高くなっています。

男女別では、女性は、「⑤同和問題のことは知らないのでわからない」が35.7%で最も高く、男性は、「②国や市などが政策で解決する」が28.3%で最も高くなっています。

年代別では、40歳代、50歳代を除き、「⑤同和問題のことは知らないのでわからない」が最も高くなっています。

問5 同和問題を解決するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

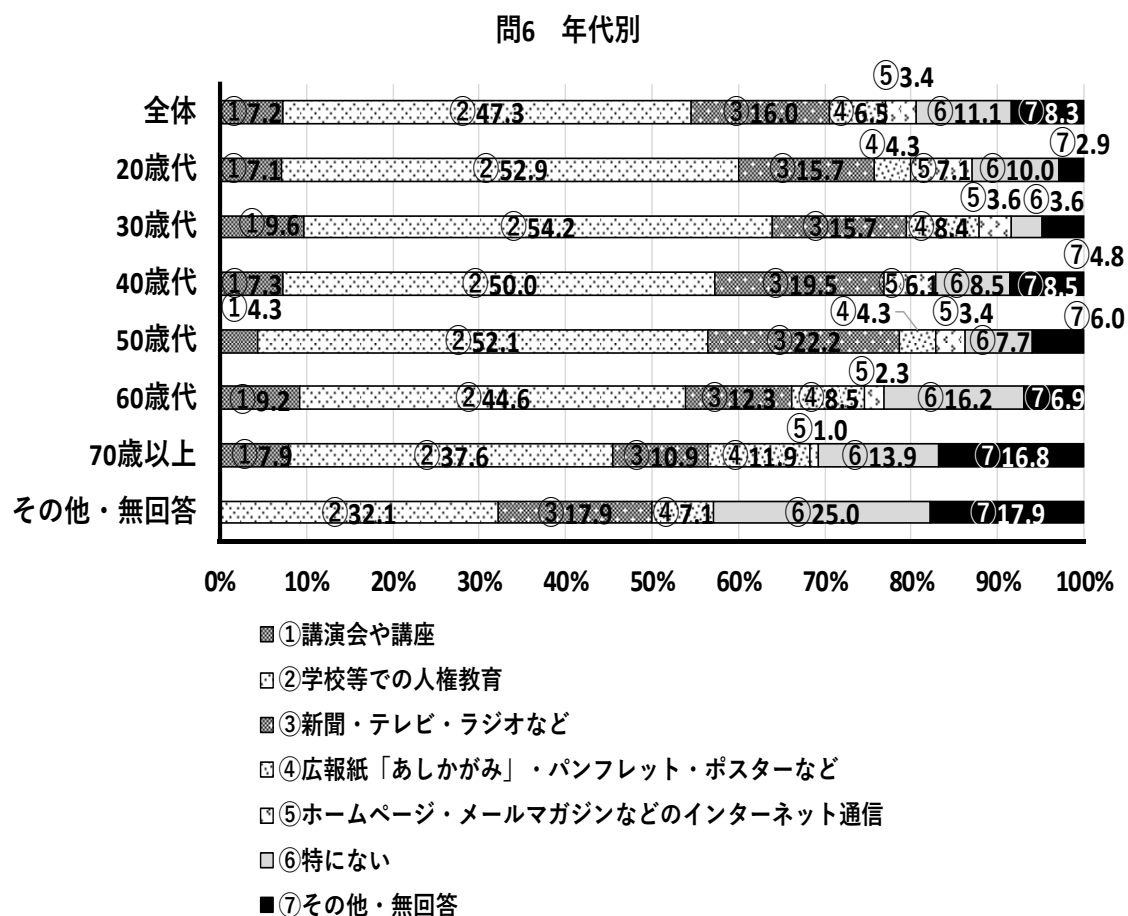
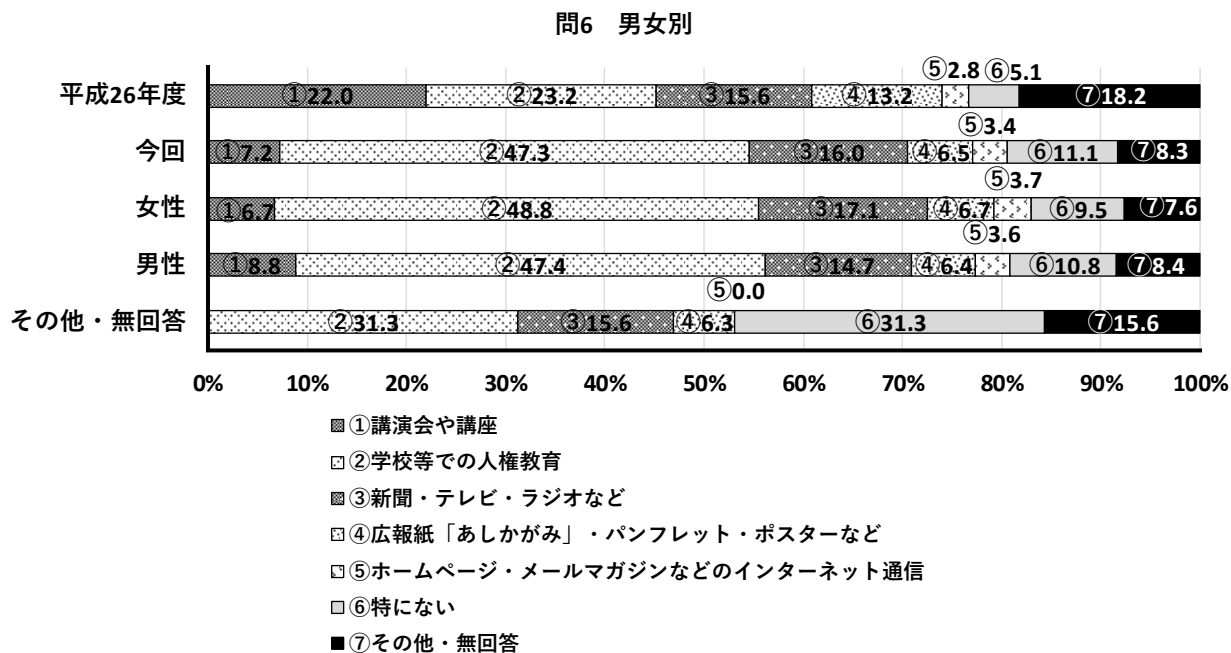
問5



全体では、「小・中学校などの人権教育で同和問題に関する正しい知識を教える」が23.8%で最も高く、男女別でも同様となっています。次いで、「行政(国・県・市)が、市民の人権意識を高める教育・啓発活動に力を入れる」が16.3%で、男女別でも同様となっています。

【人権問題への取り組みなど】

問6 人権問題についての理解をより深めるためには、何が効果的(役立つ)と思いますか。次の中から1つ選んでください。

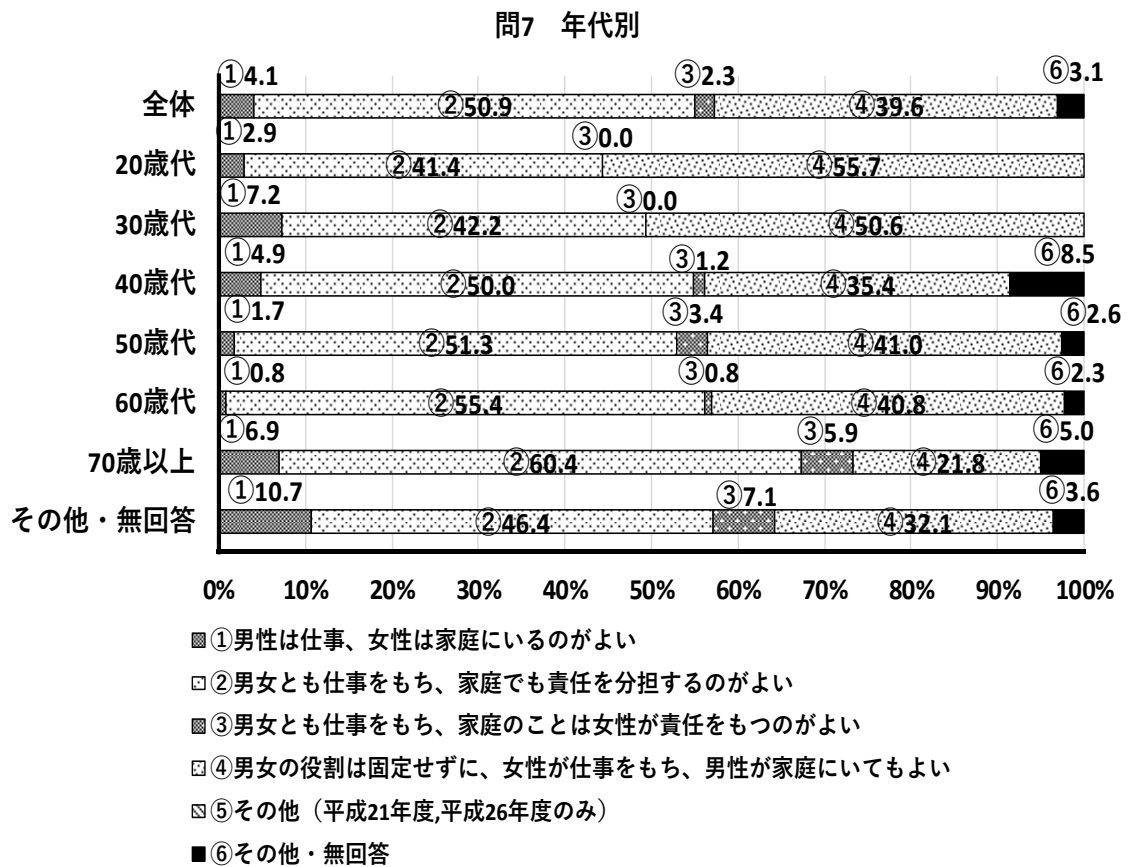
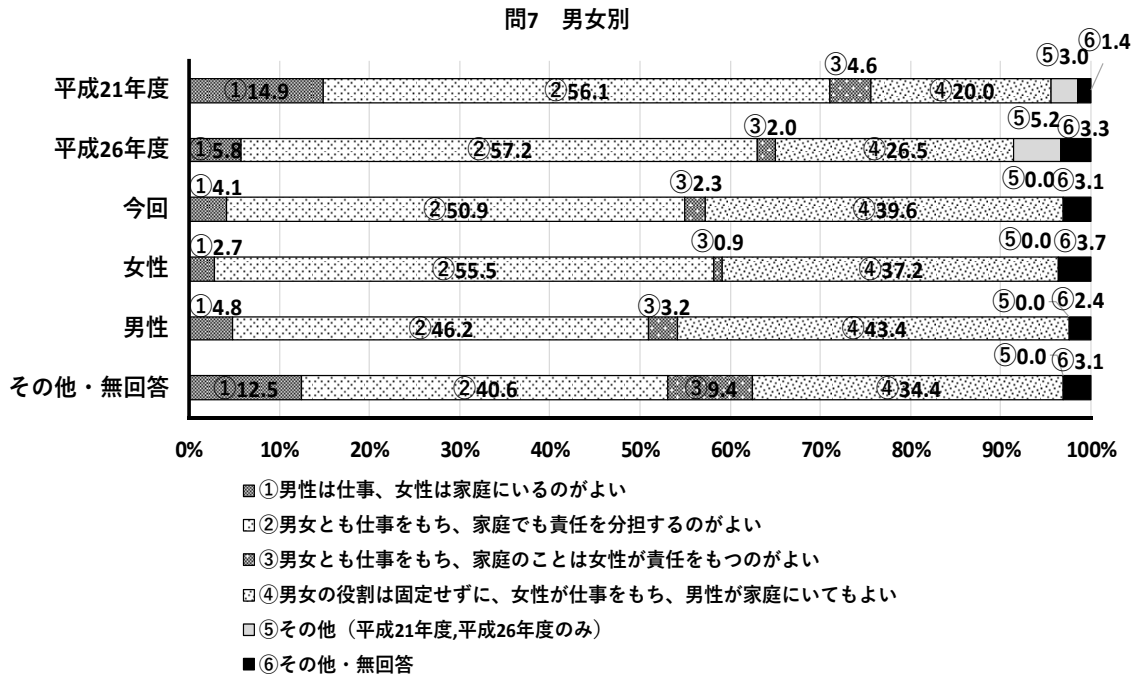


全体では、「②学校等での人権教育」が47.3%で最も高く、次いで、「③新聞・テレビ・ラジオなど」が16.0%で、男女別でも同様となっています。

男女共同参画について

【男女の役割意識】

問7 「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか。次の中から1つ選んでください。



全体では、「②男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい」が50.9%で、前回と比較し、6.3ポイント減となっています。次いで、「④男女の役割は固定せずに、女性が仕事をもち、男性が家庭にいてもよい」は、39.6%で、前回と比較し、13.1ポイント増となっています。

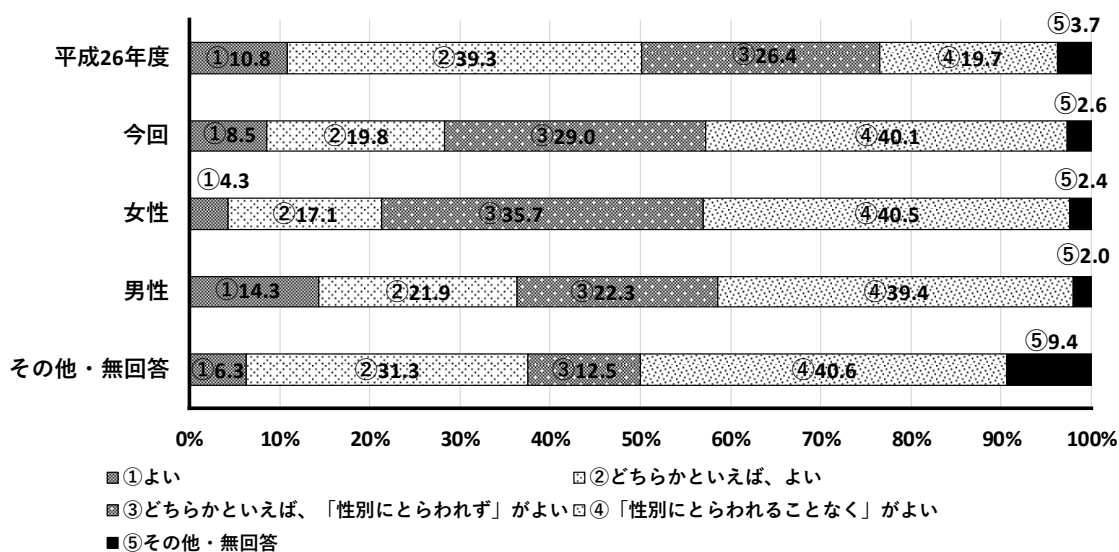
一方、「①男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい」は4.1%で、前回と比較し、1.7ポイント減となり、男性は仕事、女性は家庭という考え方は、薄れてきている傾向にあります。

男女別では、「②男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい」がともに最も高く、男性の方が9.3ポイント低くなっています。

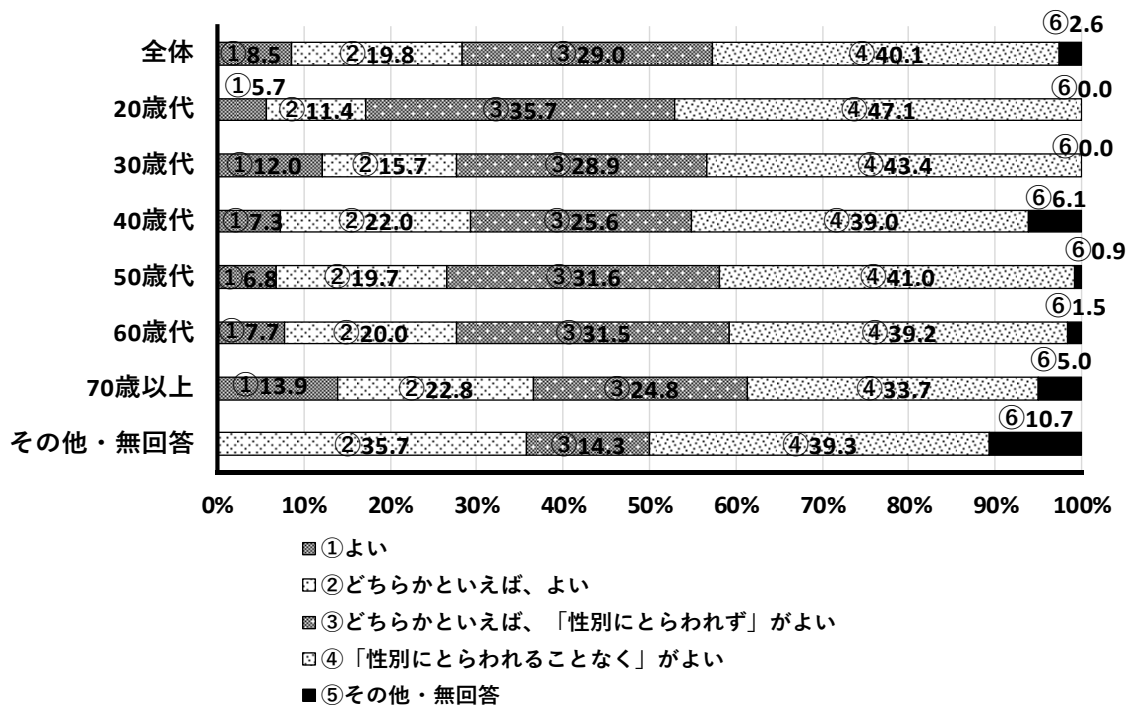
年代別では、20歳代、30歳代は、「④男女の役割は固定せずに、女性が仕事をもち、男性が家庭にいてもよい」が最も高く、40歳代から70歳以上は、「②男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい」が最も高くなっています。

問8 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方をどう思いますか。次の中から1つを選んでください。

問8 男女別



問8 年代別



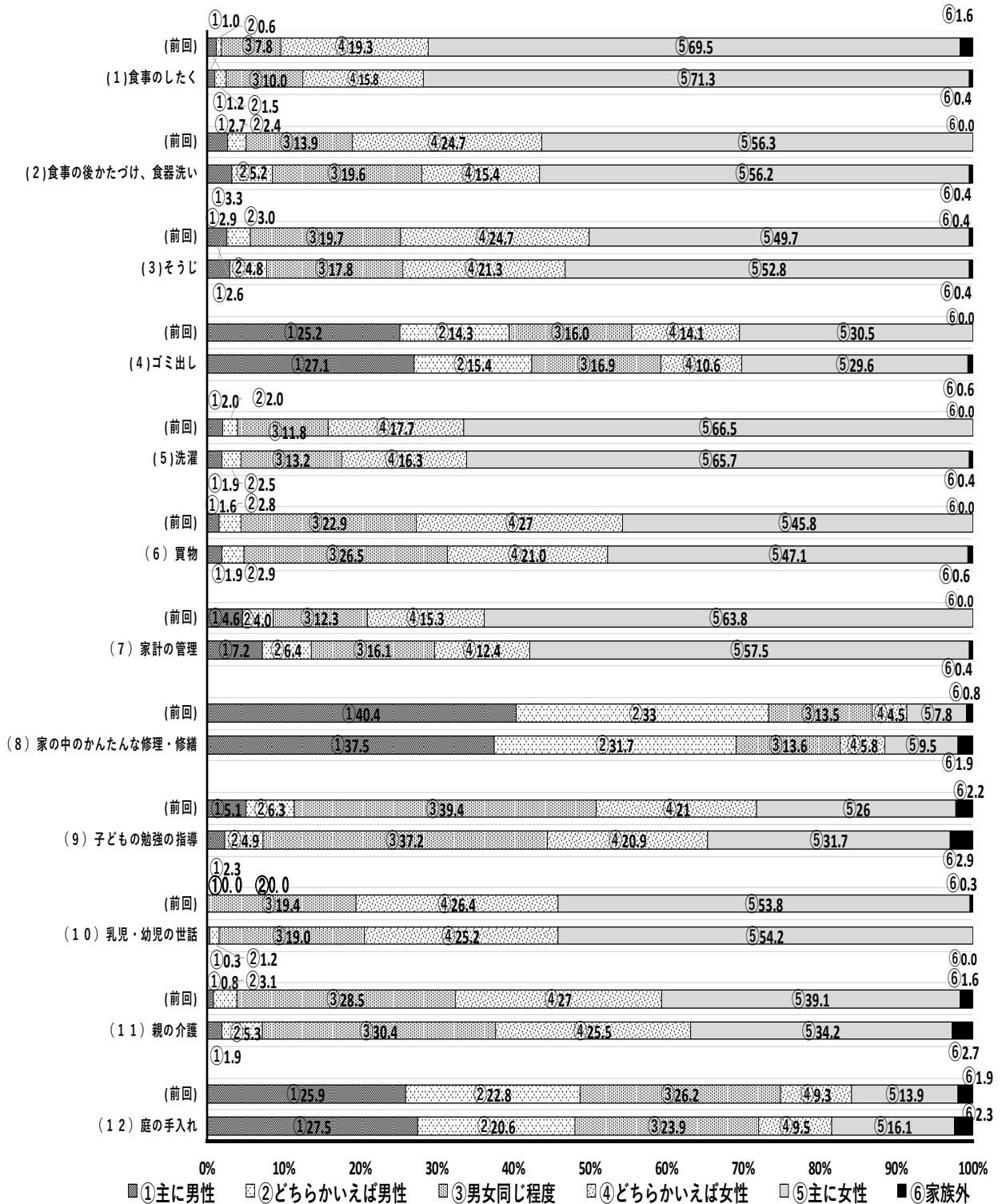
全体では、『③どちらかといえば、「性別にとらわれず」がよい』、「④「性別にとらわれることなく」がよい」の合計が69.1%で、平成26年度に比べ、23.0ポイント増となり、性別にとらわれない考えを持つ方が大幅に増えています。

男女別では、『③どちらかといえば、「性別にとらわれず」がよい』、「④「性別にとらわれることなく」がよい」の合計は、女性が76.2%、男性が、61.7%で、男性よりも女性の方が14.5ポイント高くなっています。

年代別では、『③どちらかといえば、「性別にとらわれず」がよい』、「④「性別にとらわれることなく」がよい」の合計は、20歳代が最も高く、82.8%となっています。次いで、50歳代が72.6%となっています。

問9 あなたの家では、次の(1)から(12)の内容について男女のどちらが担っていますか。次の中から1つずつ選んでください。男性だけ又は女性だけの世帯は、「該当なし」を選択してください。

問9 上段：平成26年度（前回） 下段：令和元年度（今回）

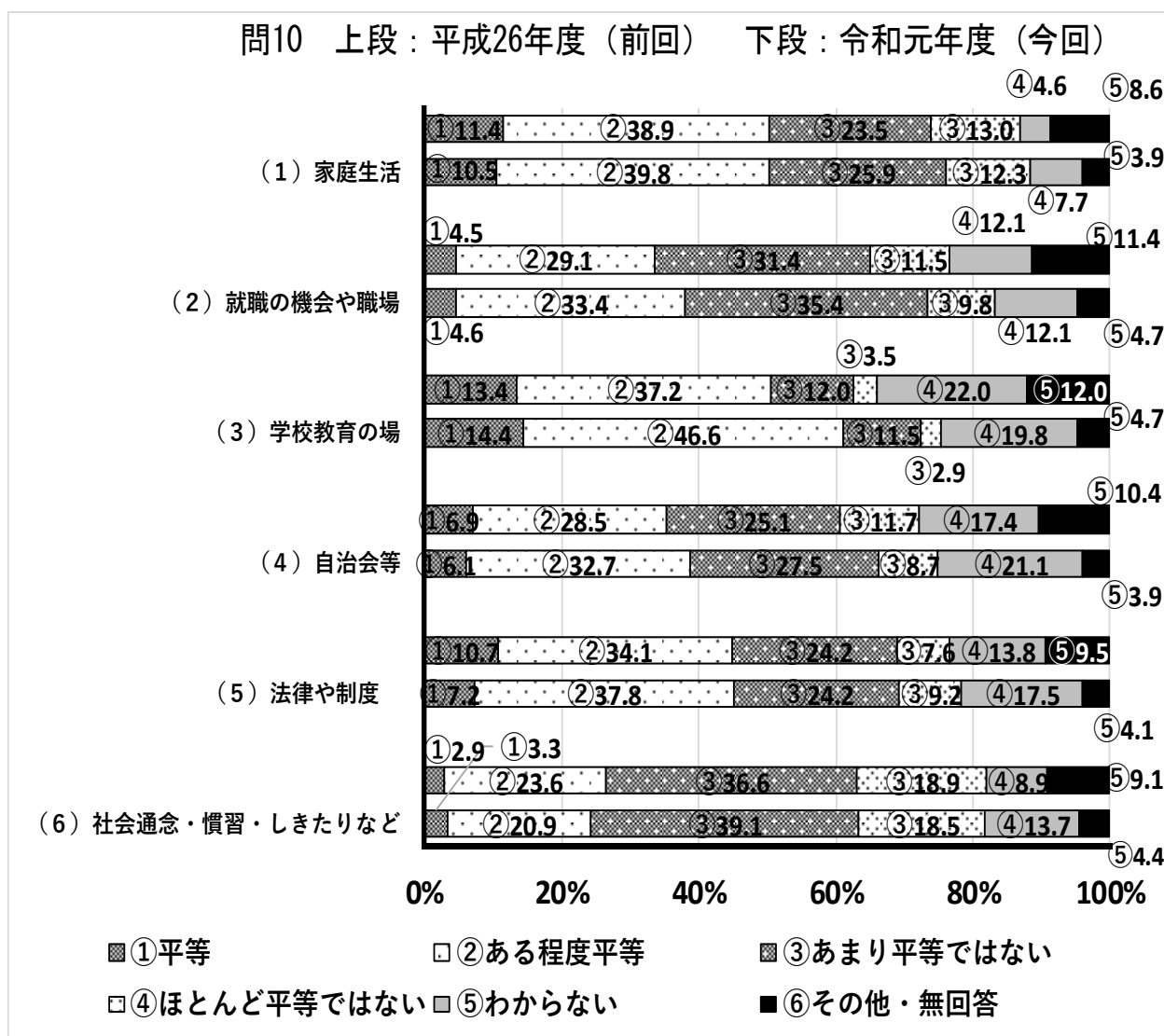


全体では、「(1) 食事のしたく」、「(5) 洗濯」については、「⑤主に女性」が60%を超えており、女性が家事の多くを担っています。前回と比較し、「(1) 食事のしたく」、「(2) 食事の後かたづけ、食器洗い」、「(3) そうじ」、「(4) ゴミ出し」、「(5) 洗濯」、「(6) 買物」、「(7) 家計の管理」、「(10) 乳児・幼児の世話」、「(11) 親の介護」においては、「①主に男性」、「②どちらかといえば男性」が増加し、少しずつ男女の協力が進んでいる傾向が読み取れます。

しかし、男女別で「③男女同じ程度」を選択した割合を比較すると、「(9)子どもの勉強の指導」、「(3)そうじ」、「(6)買物」は、「男女同じ程度」と選択した割合が女性よりも男性の方が10.0ポイント以上高く、男性と女性とで、認識の違いがあります。

【男女平等】

問10 次の(1)から(6)の分野で、現在、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。次の中から1つずつ選んでください。



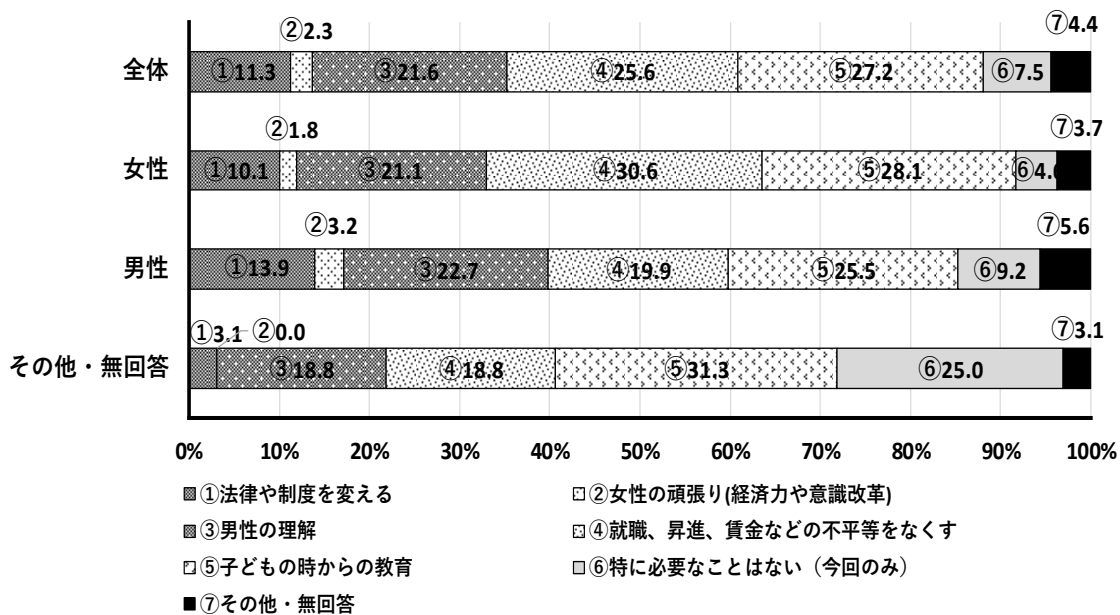
全体では、「①平等」、「②ある程度平等」の合計が最も高いのは、「(3)学校教育の場」が61.0%、最も低いのは「(6)社会通念・慣習・しきたりなど」で23.8%となっています。

前回と比較し、「(2)就職の機会や職場」、「(3)学校教育の場」、「(4)自治会等」、「(5)法律や制度」は、「①平等」、「②ある程度平等」の合計が増加しました。

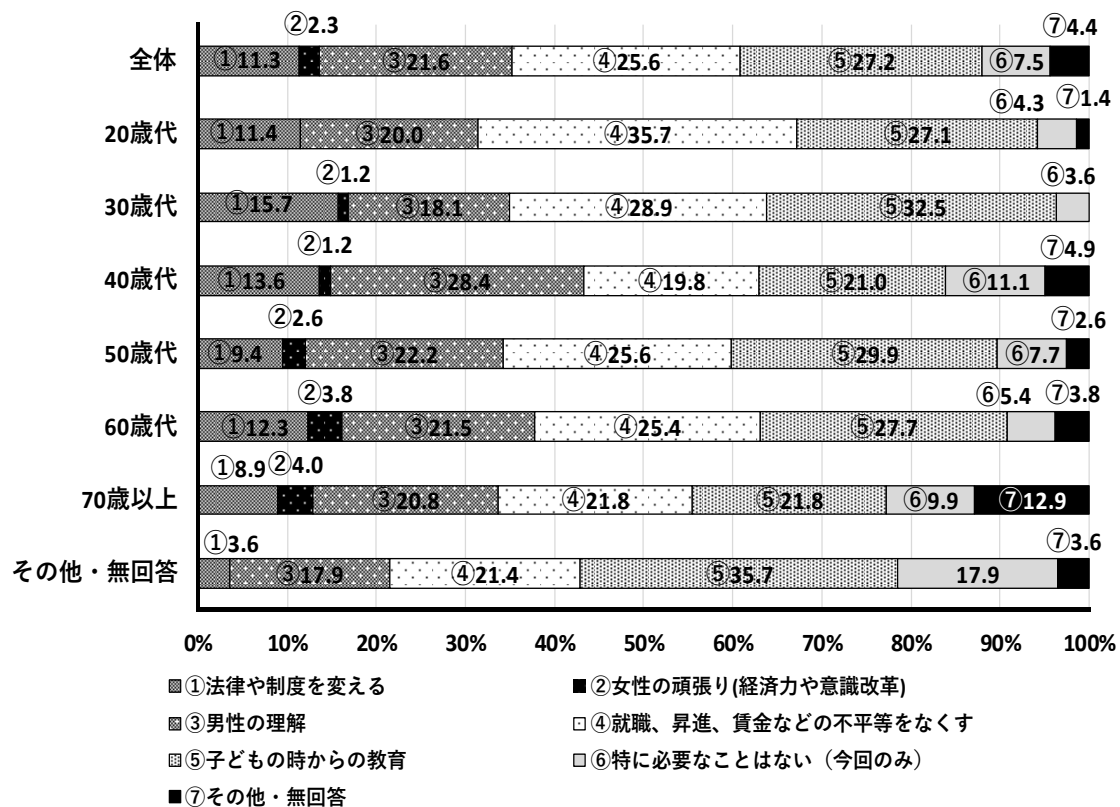
しかし、男女別で「①平等」を選択した割合を比較すると、全項目とも女性よりも男性の方が「平等」を選択した割合が高く、特に、「(5)法律や制度」、「(1)家庭生活」、「(4)自治会等」については、女性よりも男性の割合が顕著に高くなっており、男性と女性とで、認識の違いがあります。

問11 男女平等の実現のために、今後どのようなことが必要だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

問11 男女別



問11 年代別

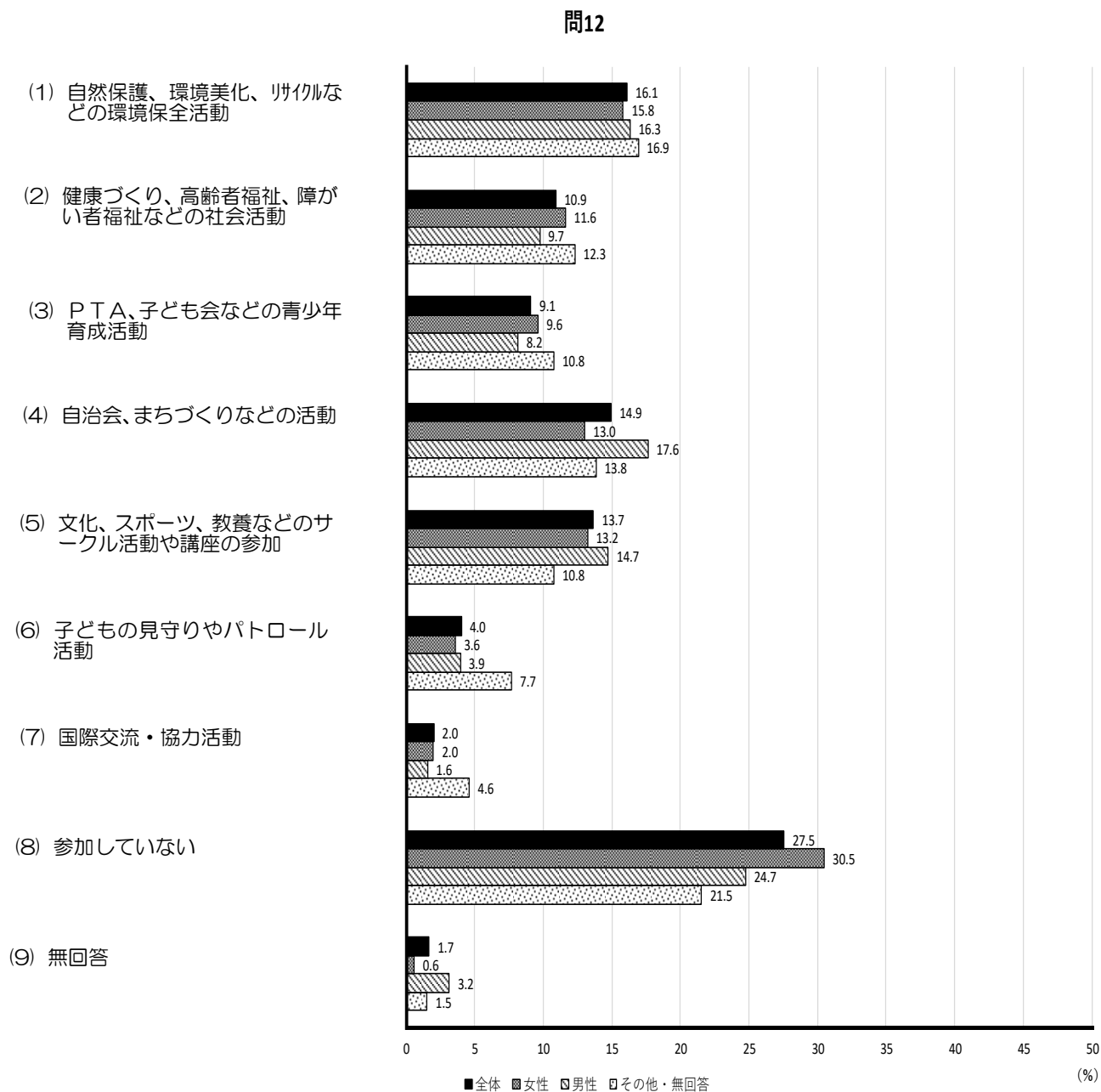


全体では、「⑤子どもの時からの教育」が27.2%、「④就職、昇進、賃金などの不平等をなくす」が25.6%、「③男性の理解」が21.6%で上位3項目となりました。

男女別では、女性は、「④就職、昇進、賃金などの不平等をなくす」が30.6%、男性は、「⑤子どもの時からの教育」が25.5%と最も高くなりました。

【地域・社会参画】

問12 あなたは、次にあげるような活動をしていますか。次の中から選んでください
(いくつでも可)。

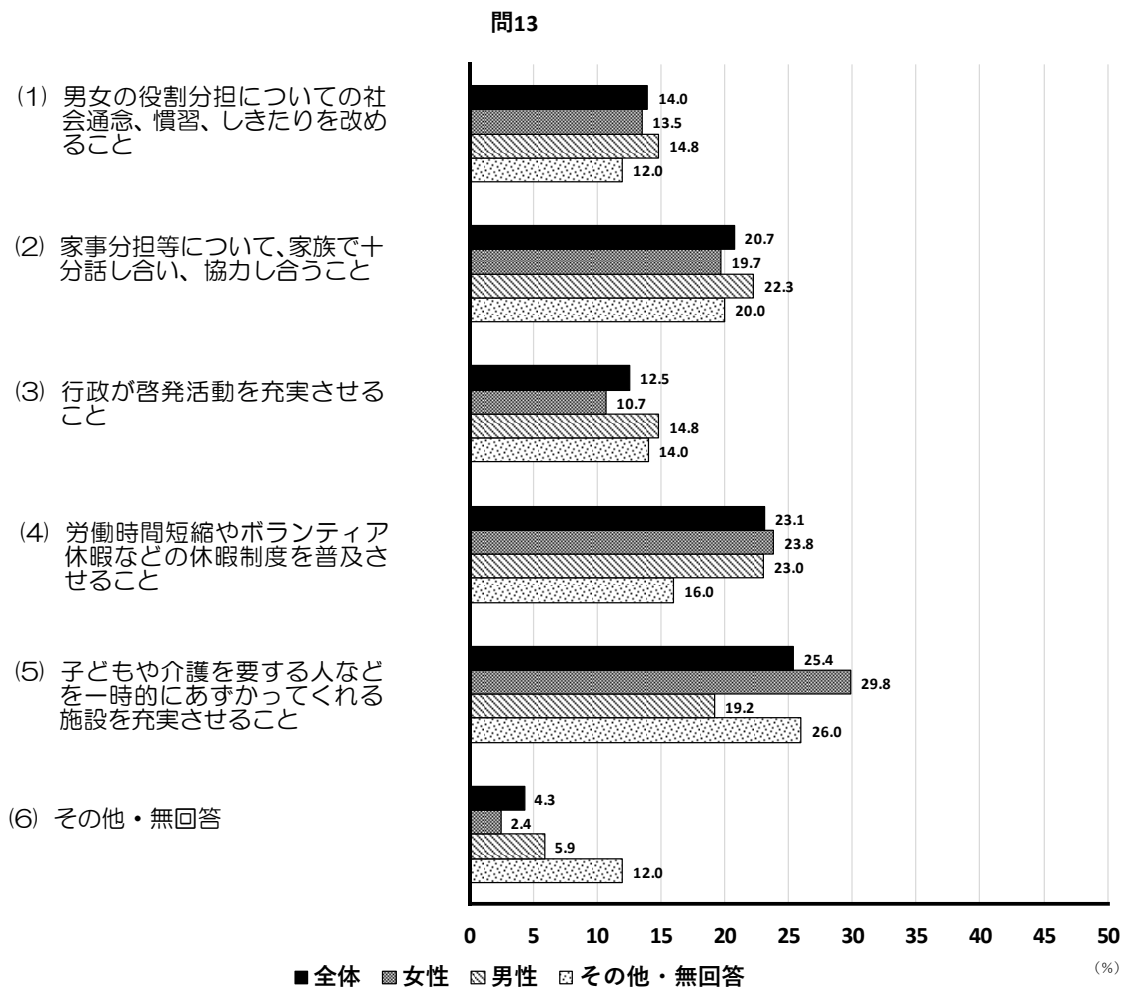


全体では、「(1)自然保護、環境美化、リサイクルなどの環境保全活動」が16.1%で最も高く、次いで「(4)自治会、まちづくりなどの活動」が14.9%となっています。

男女別では、女性は「(1)自然保護、環境美化、リサイクルなどの環境保全活動」が15.8%、男性は「(4)自治会、まちづくりなどの活動」が17.6%と最も高くなっています。

「(1)自然保護、環境美化、リサイクルなどの環境保全活動」は、男女の差がほとんどありませんが、「(4)自治会、まちづくりなどの活動」については、女性の方が4.6ポイント低くなっており、女性の参画が少ないことが読み取れます。

問13 サークル活動や地域活動、ボランティア等に参加したい時に参加できるようにしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまでを選んでください。

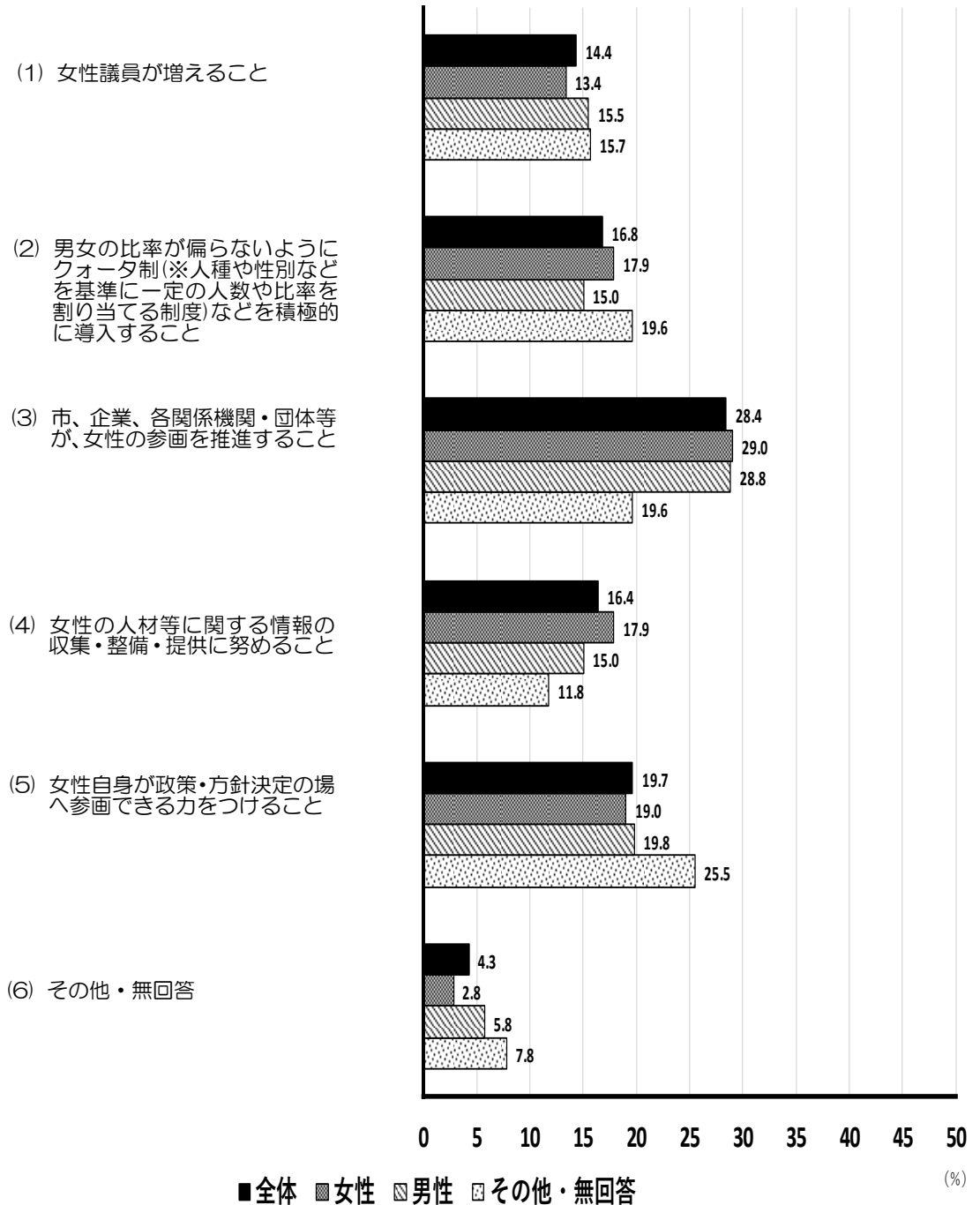


全体では、「(5) 子どもや介護を要する人などを一時的にあずかってくれる施設を充実させること」が25.4%、「(4) 労働時間短縮やボランティア休暇などの休暇制度を普及させること」が23.1%、「(2) 家事分担等について、家族で十分話し合い、協力すること」が20.7%で、上位3項目となりました。

男女別では、女性は、「(5) 子どもや介護を要する人などを一時的にあずかってくれる施設を充実させること」が29.8%で最も高く、男性は、19.2%となっており、男性の方が10.6ポイント低くなっています。

問14 国、県、市の政策や地域、企業の方針決定への女性の参画のために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

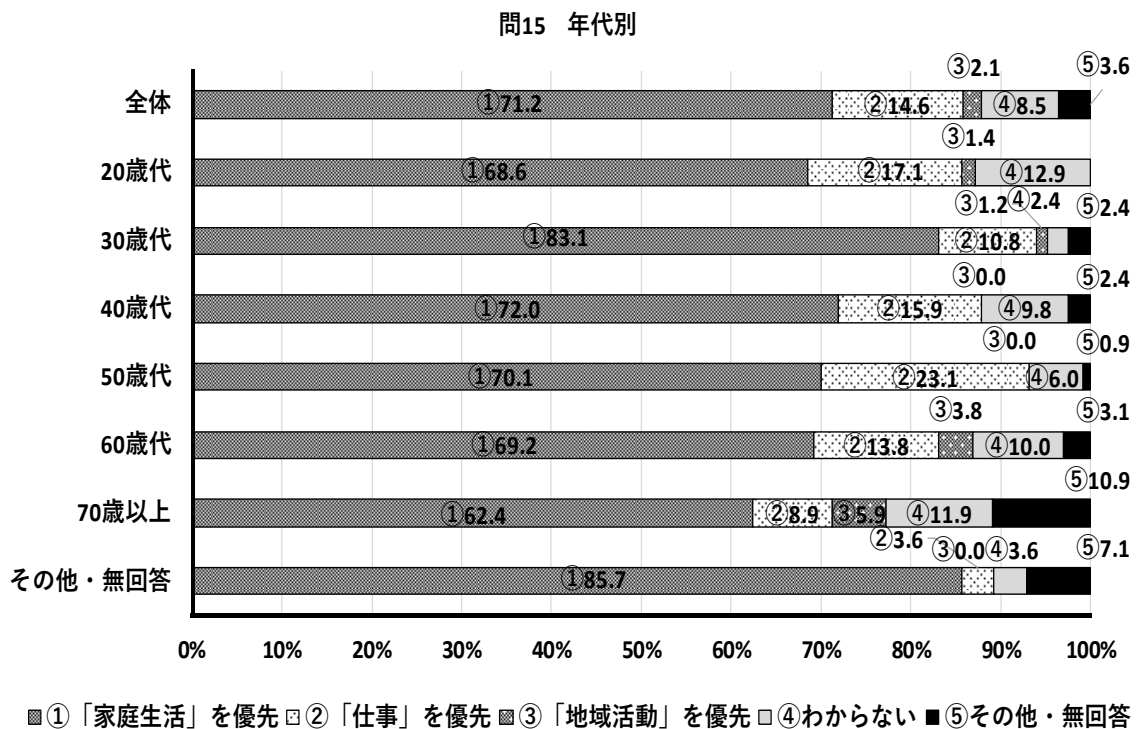
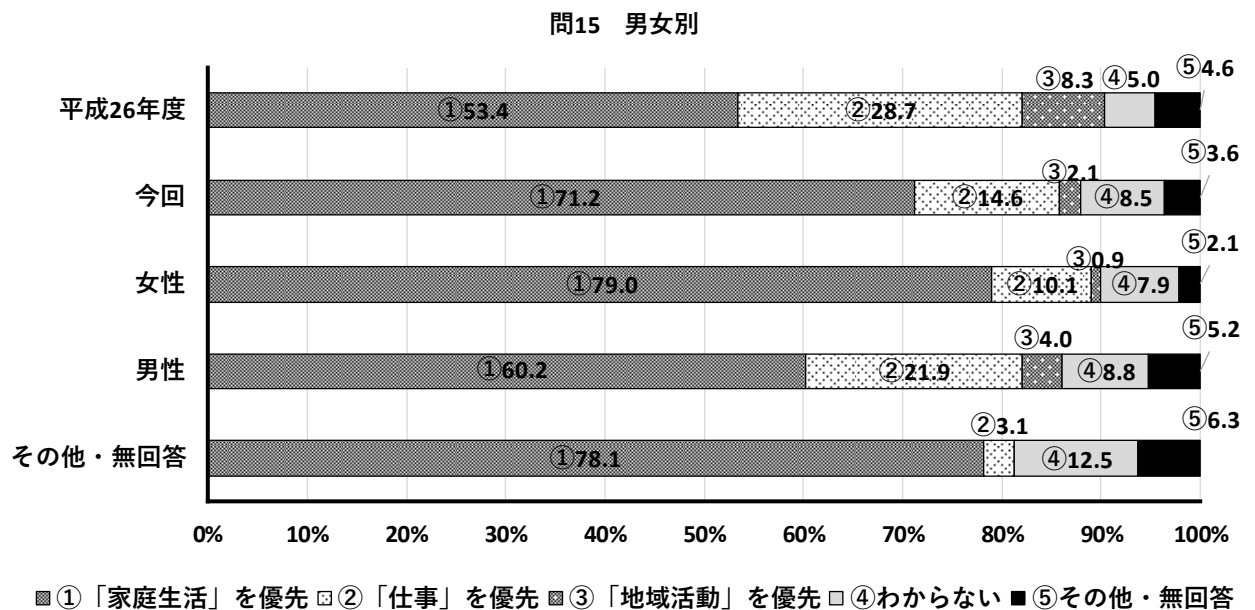
問14



全体では、「(3)市、企業、各関係機関・団体等が、女性の参画を推進すること」が28.4%で最も高く、男女別でも、同じ項目が、女性29.0%、男性28.8%と最も高くなっています。次いで、高い割合を占めたのは、男女とも「(5)女性自身が政策・方針決定の場へ参画できる力をつけること」となっています。

【ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】

問15 生活の中で、「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」の優先度について、あなたの希望に最も近いものを次の中から1つ選んでください。

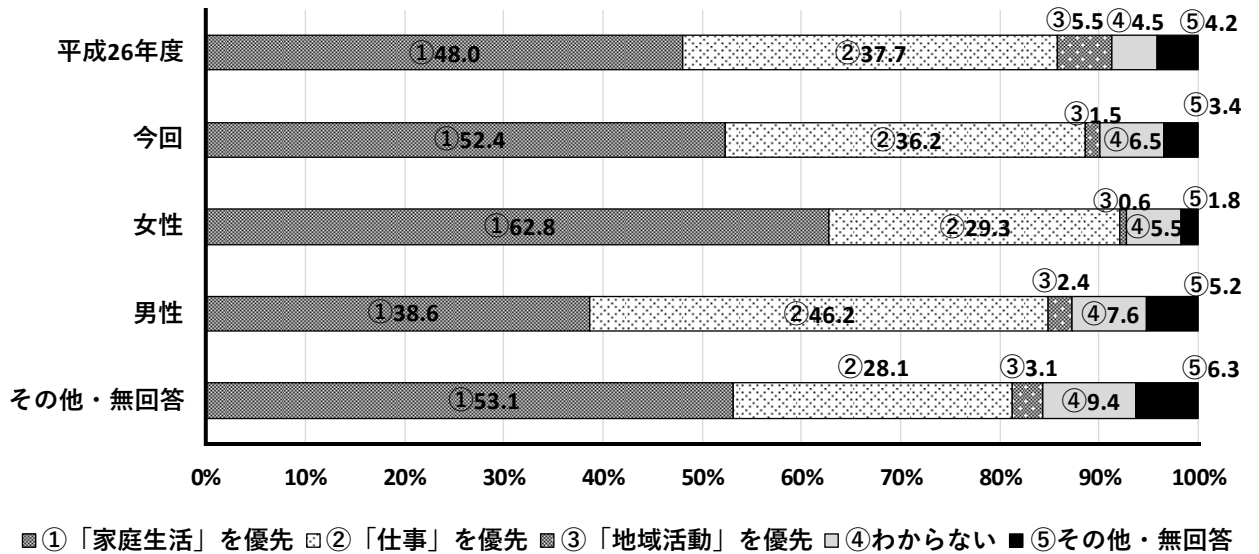


全体では、『①「家庭生活」を優先』が71.2%で最も高く、前回と比較すると、17.8ポイント高く、男女別でも同様となっています。

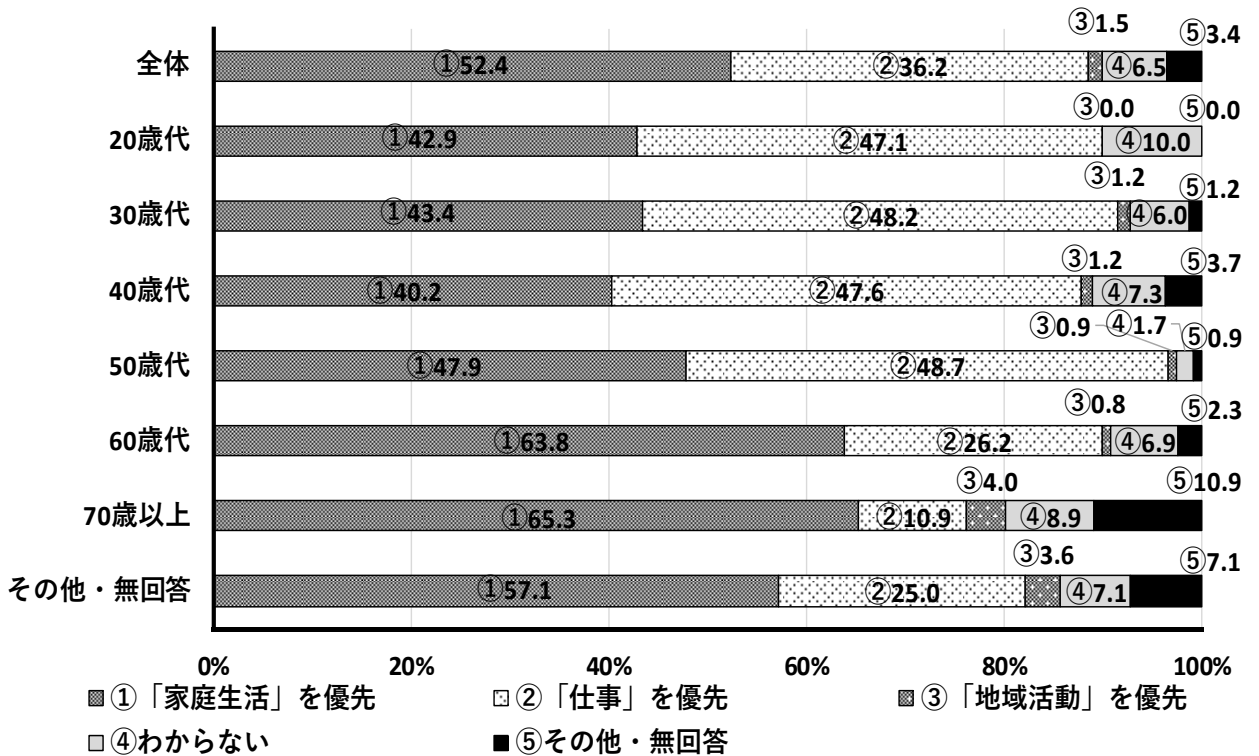
次いで、『②「仕事」を優先』が、男女とも高くなっており、女性は、10.1%、男性は、21.9%で、男性の方が11.8ポイント高く、仕事を優先している割合が高いことがうかがえます。

問 16 生活の中で、「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」の優先度について、あなたが現実に優先しているものを次の中から1つ選んでください。

問16 男女別



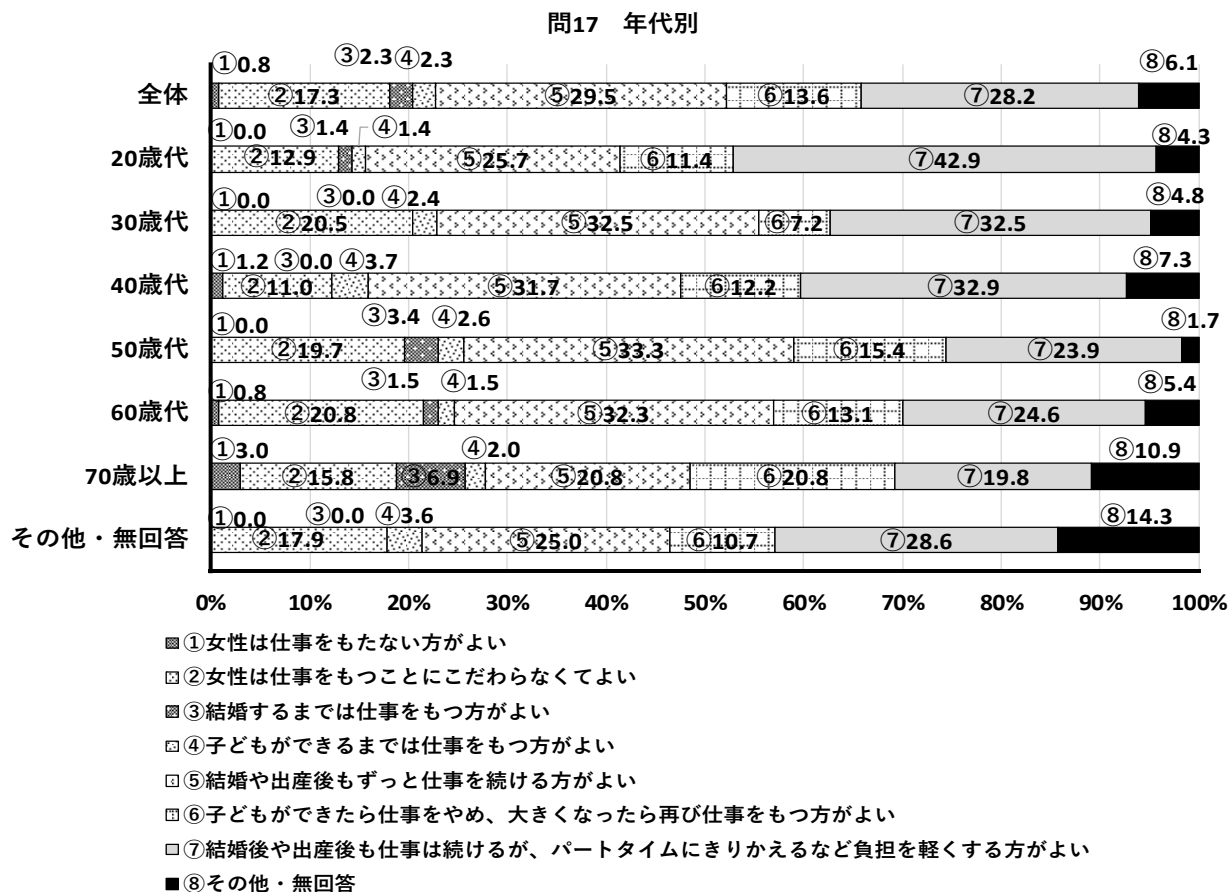
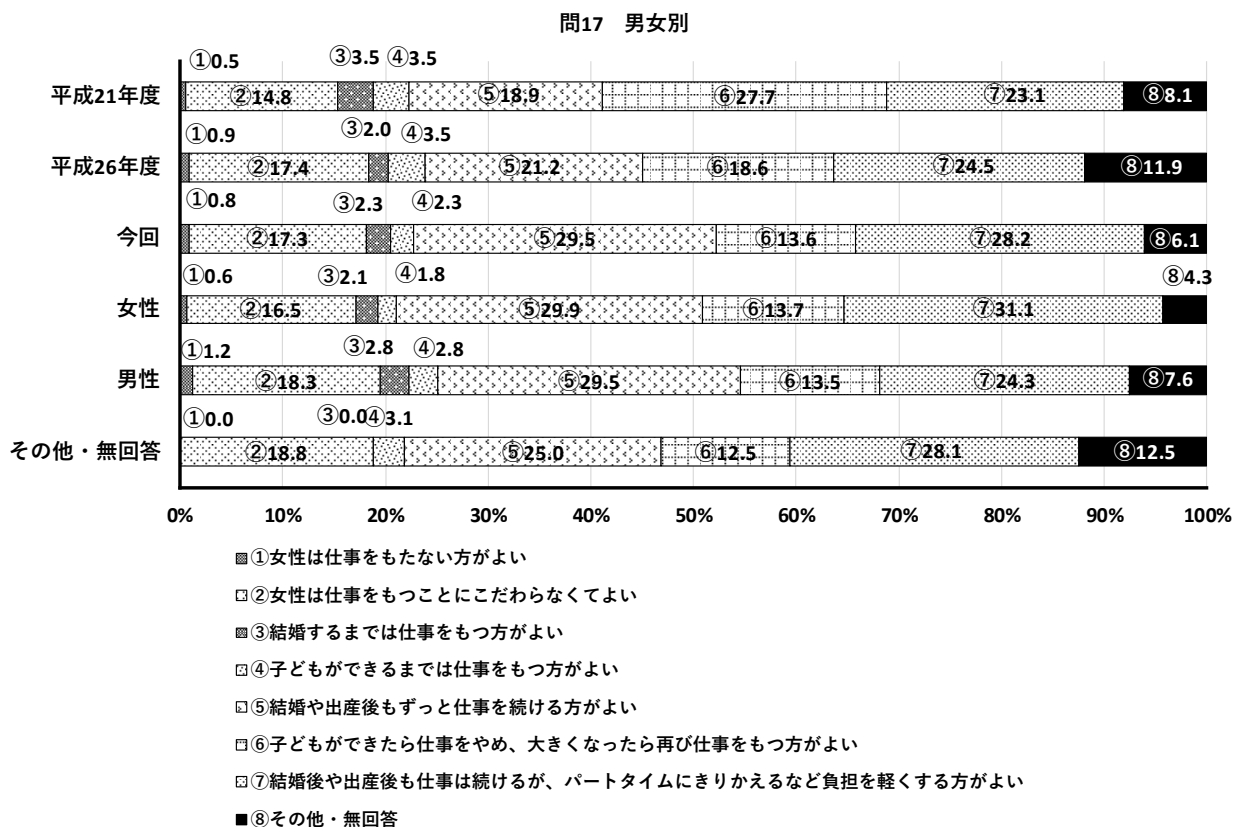
問16 年代別



全体では、『①「家庭生活」を優先』が52.4%で最も高く、男女別では、女性は、『①「家庭生活」を優先』が62.8%、男性は『②「仕事」を優先』が46.2%で最も高くなっており、問15(希望)の結果では、『「家庭生活」を優先』が最も高かったのに対し、現実には、女性は「家庭生活」、男性は「仕事」を優先している傾向となっています。

【女性が働くこと】

問17 女性の働き方についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

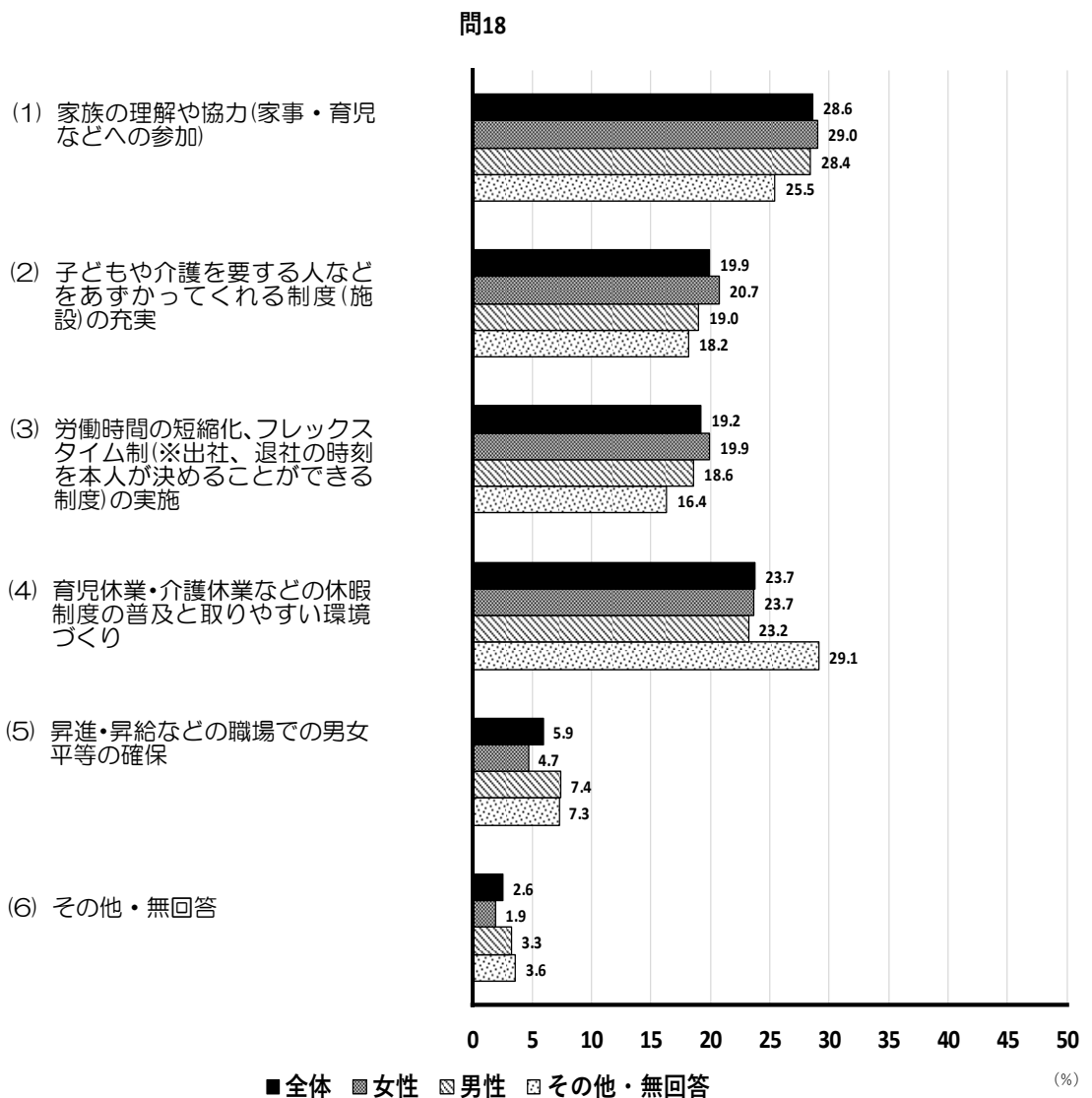


全体では、「⑤結婚や出産後もずっと仕事を続ける方がよい」が29.5%で最も高くなっています。また、「⑥子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は、前回と比較して5.0ポイント減少しています。

男女別では、女性は、「⑦結婚後や出産後も仕事は続けるが、パートタイムにきりかえるなど負担を軽くする方がよい」が31.1%で最も高く、男性は、「⑤結婚や出産後もずっと仕事を続ける方がよい」が29.5%で最も高く、男女でも意識の違いがあることが分かります。

年代別では、20歳代から40歳代は、「⑦結婚後や出産後も仕事は続けるが、パートタイムにきりかえるなど負担を軽くする方がよい」が最も高く、50歳代から70歳代は、「⑤結婚や出産後もずっと仕事を続ける方がよい」が最も高く、年代が高くなるにつれ、仕事をずっと続ける方がよい傾向にあります。

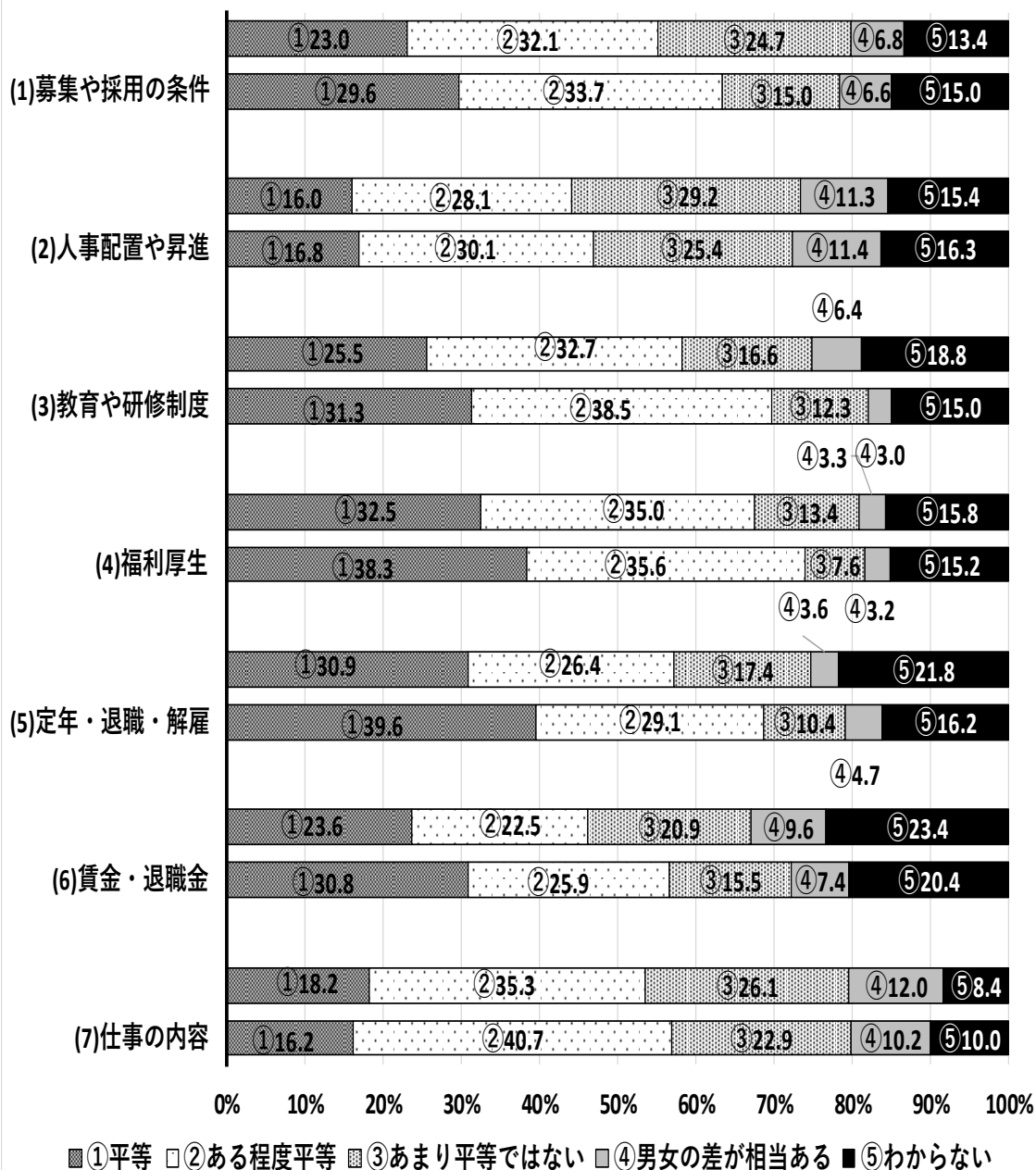
問18 女性が結婚・出産後も働き続けるには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。



全体では「(1) 家族の理解(家事・育児などへの参加)」が28.6%で最も高くなっています。次いで、「(4) 育児休業・介護休業などの休暇制度の普及と取りやすい環境づくり」が23.7%で高くなっており、男女とも同様の結果となりました。

問 19 あなたの職場では、次の(1)から(7)の内容について男女平等になっていますか。
次の中から1つずつ選んでください。

問 19 上段：平成 26 年度（前回） 下段：令和元年度（今回）



全体では、「①平等」、「②ある程度平等」の合計が、7項目中最も高かったのは「(4) 福利厚生」で、73.9%になりました。この項目については、前回の調査でも最も高い状況にありましたが、前回よりも6.4ポイント増加しています。次いで、「(3) 教育や研修制度」が69.8%となりました。

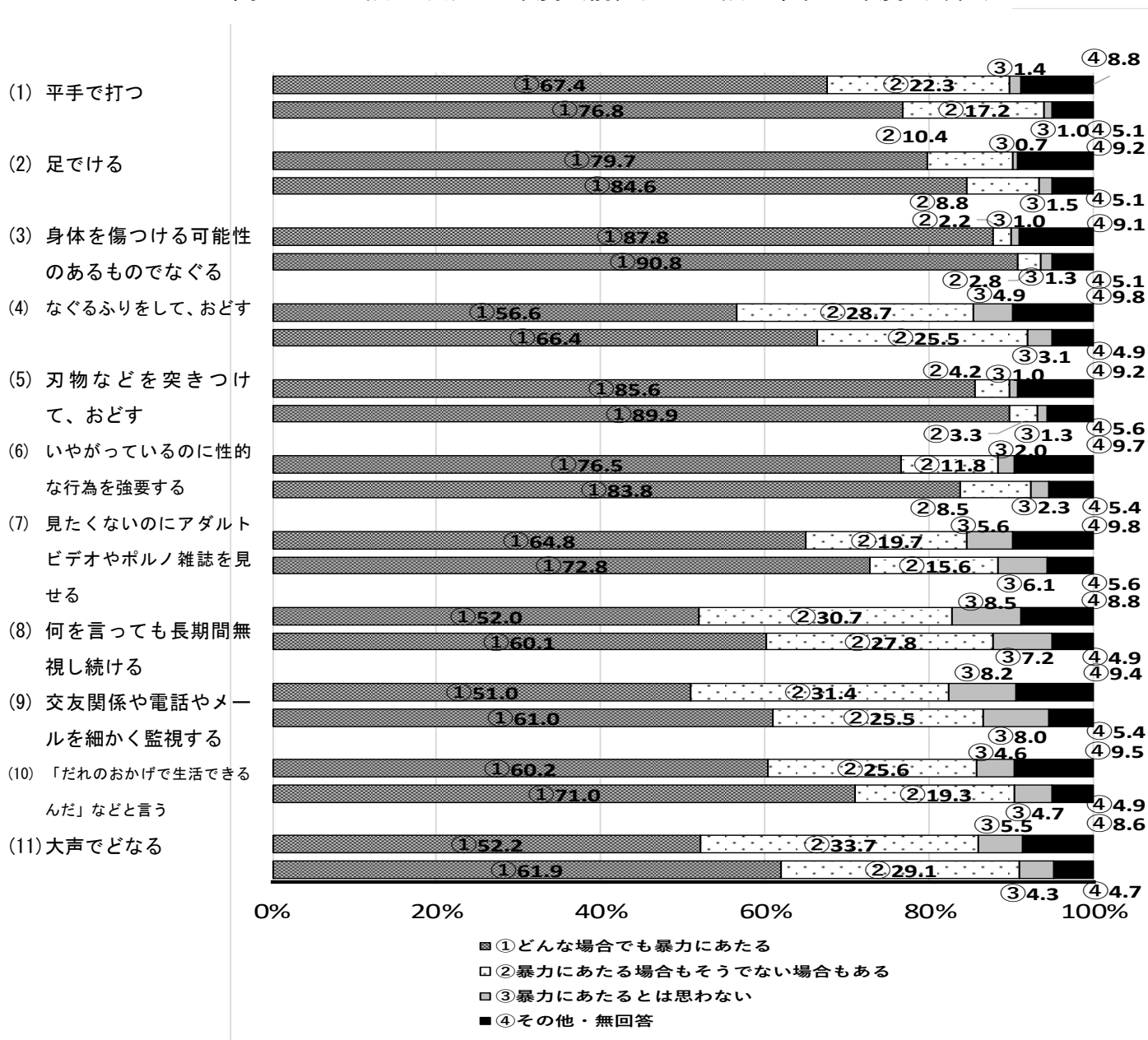
一方、「③あまり平等ではない」、「④男女の差が相当ある」の割合の合計は、「(2) 人事配置や昇進」が36.8%で最も高く、次いで、「(7) 仕事の内容」が33.1%となりました。

また、男女別で「①平等」を選択した割合を比較すると、「(5) 定年・退職・解雇」、「(4) 福利厚生」、「(6) 賃金・退職金」については、女性よりも男性の方が10.0ポイント以上高くなっており、男性と女性で、認識の違いがあります。

【男女間の暴力】

問 20 次の(1)から(11)のようなことが夫婦(交際相手)との間で行われた場合、どのよう
に感じますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から1つずつ選んでください。

問 20 上段：平成 26 年度（前回） 下段：令和元年度（今回）



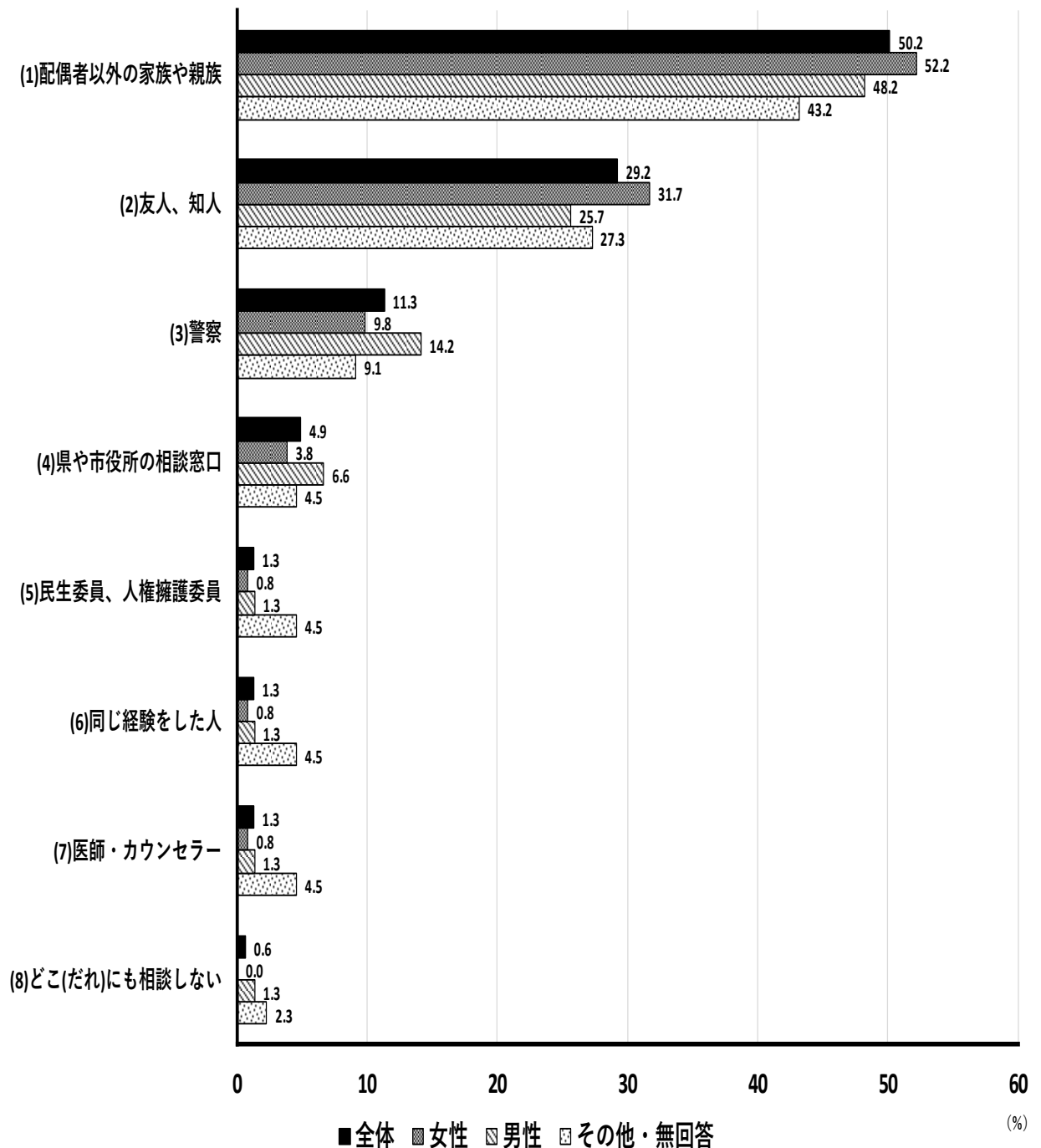
全体では、全ての項目で「①どんな場合でも暴力にあたる」が60%を超えています。その中で、「(3)身体を傷つける可能性のあるものでなぐる」が90.8%で最も高く、次いで、「(5)刃物などを突きつけて、おどす」が89.9%となっています。

一方、「(8)何を言っても長時間無視し続ける」が60.1%で最も低く、次いで、「(9)交友関係や電話やメールを細かく監視する」が61.0%となっており、精神的な暴力はやや低い傾向にあります。

また、男女別で「①どんな場合でも暴力にあたる」を選択した割合を比較すると、全項目とも男性よりも女性の方が「①どんな場合でも暴力にあたる」を選択した割合が高く、特に、「(1)平手で打つ」、「(10)「だれのおかげで生活できるんだ」などと言う」については、男性よりも女性の割合が顕著に高くなっており、男性と女性で、暴力に対する認識に違いがあります。

問 21 もし、あなたやあなたの身近な人に「問 20」のようなことが行われた場合、あなたはだれに(どこに)相談しますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。(いくつでも可)

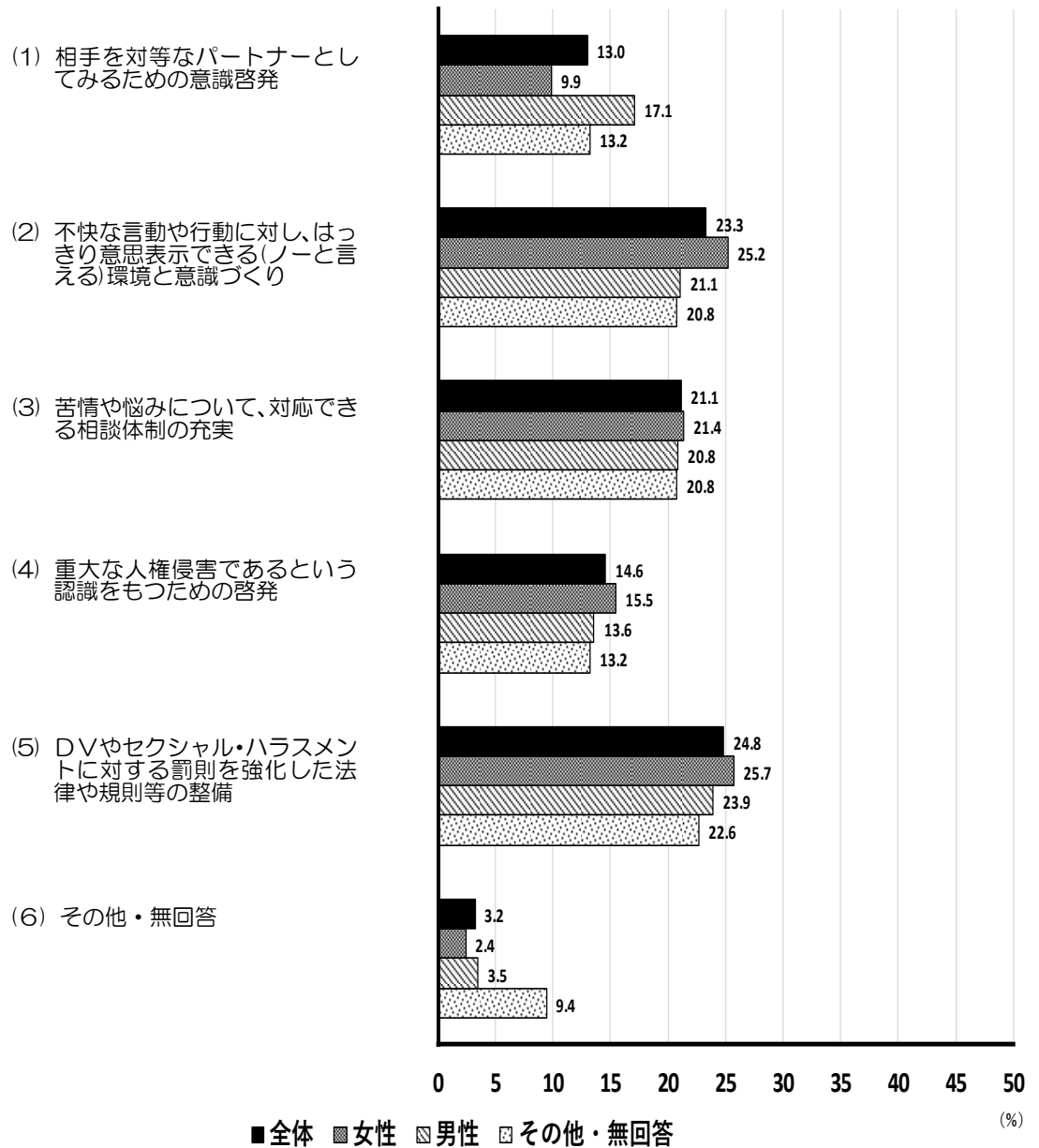
問21



全体では、「(1)配偶者以外の家族や親族」が50.2%と最も高く、次いで「(2)友人、知人」の29.2%となっており、男女別でも同様の傾向となりました。傾向としては、近い関係の人にまずは相談し、それ以外では、「(3)警察」へ相談する回答が11.3%で、最も高くなっています。

問 22 ドメスティック・バイオレンス(DV:配偶者等からの暴力)やセクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

問22

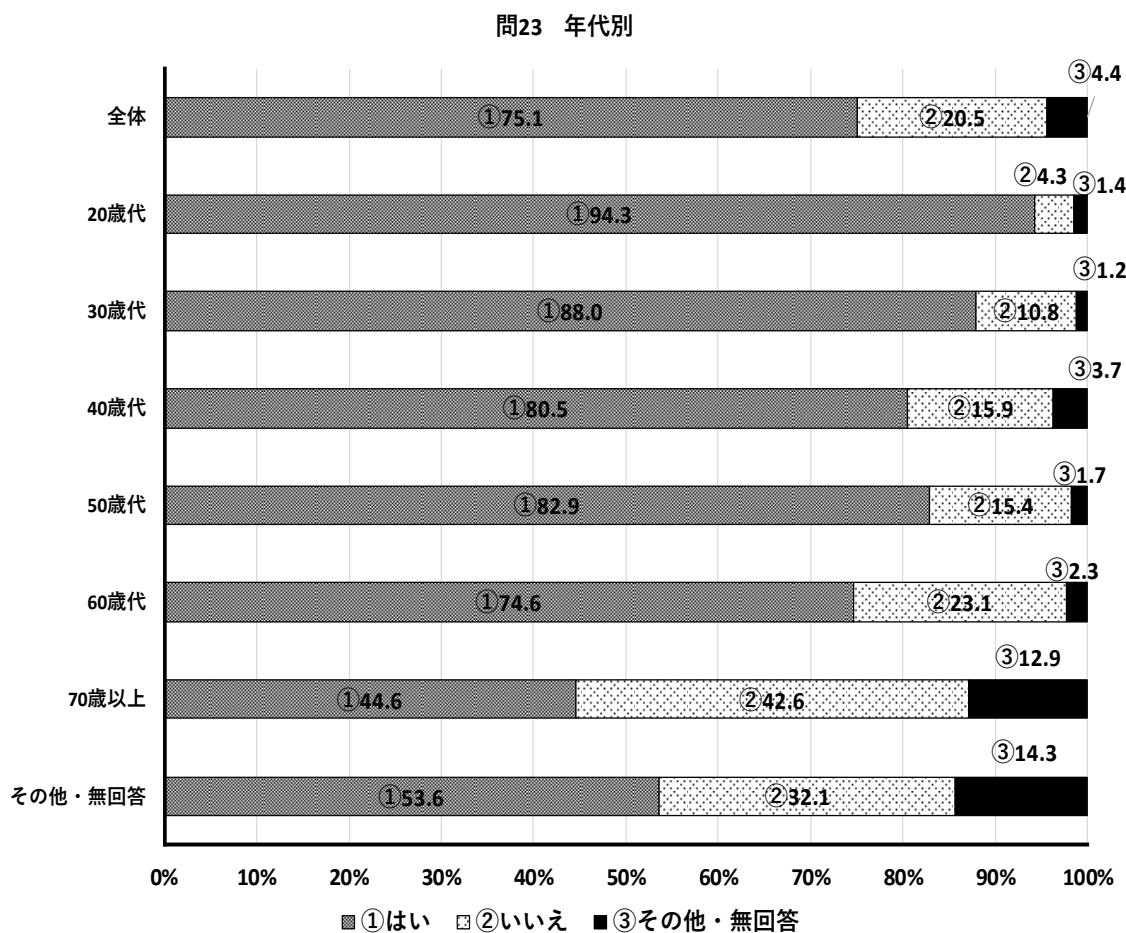
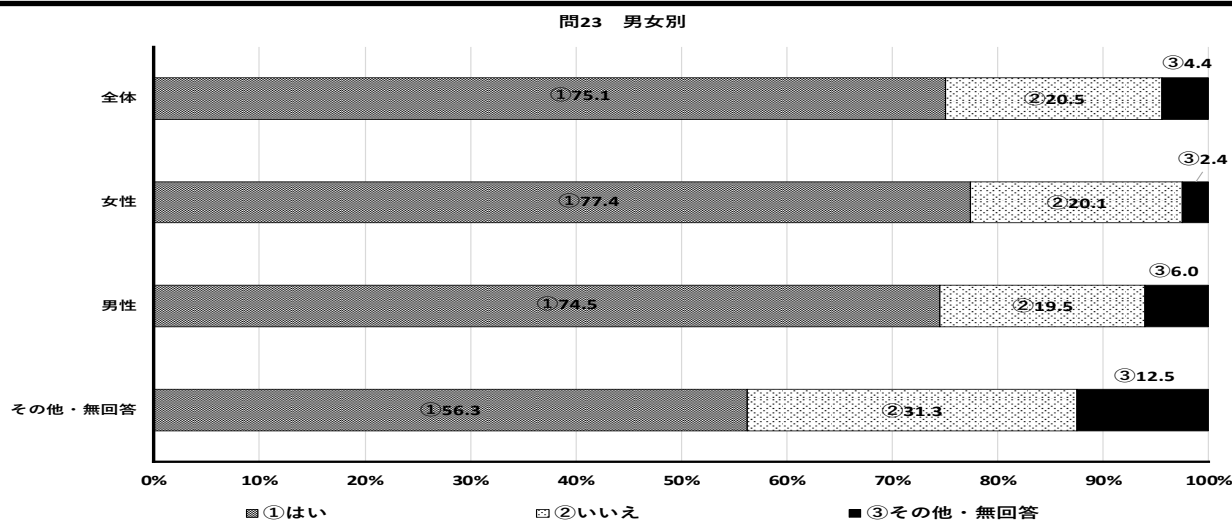


全体では、「(5)DV やセクシャル・ハラスメントに対する罰則を強化した法律や規則等の整備」が24.8%で最も高く、次いで、「(2)不快な言動や行動に対し、はっきり意思表示できる環境と意識づくり」が23.3%となっています。

男女別でも同様の結果となっていますが、「(5)DV やセクシャル・ハラスメントに対する罰則を強化した法律や規則等の整備」、「(2)不快な言動や行動に対し、はっきり意思表示できる環境と意識づくり」のいずれも、男性よりも女性の方が高くなっています。

【性的少数者（LGBT）】

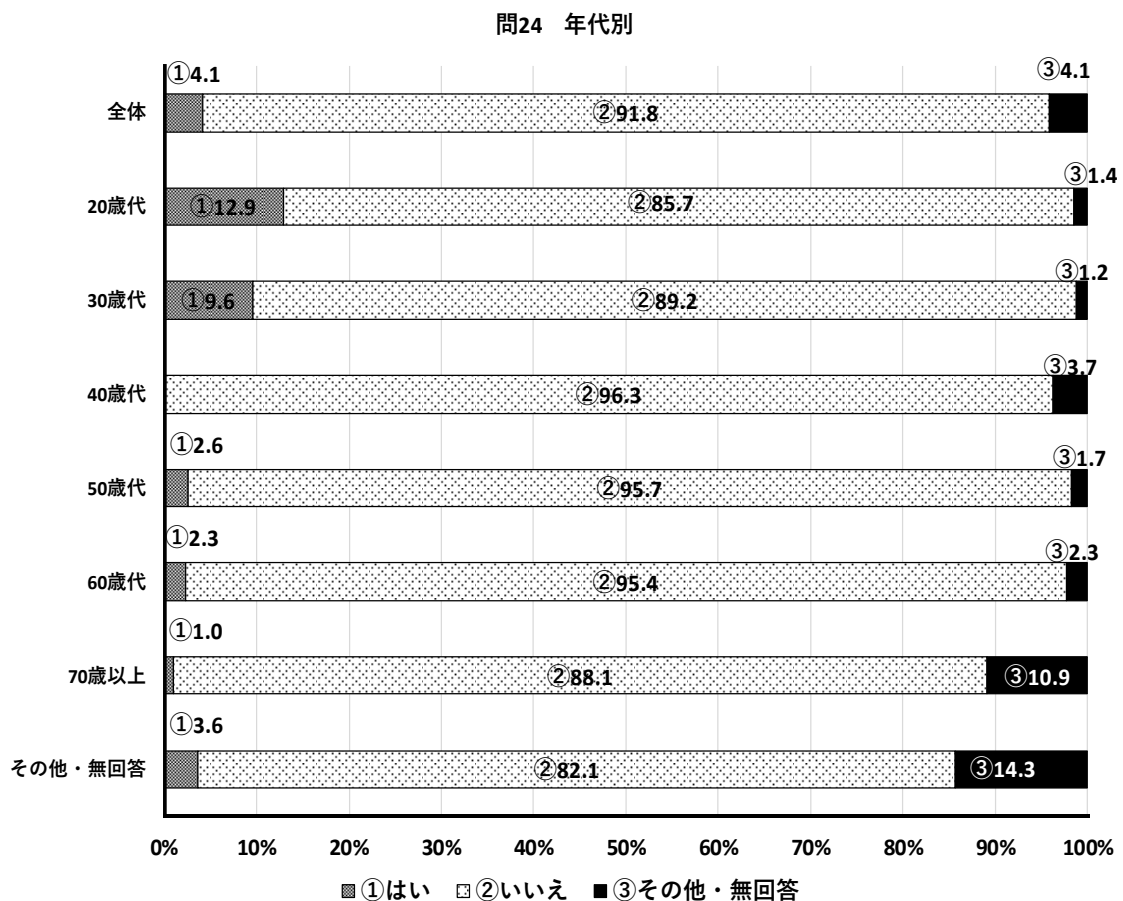
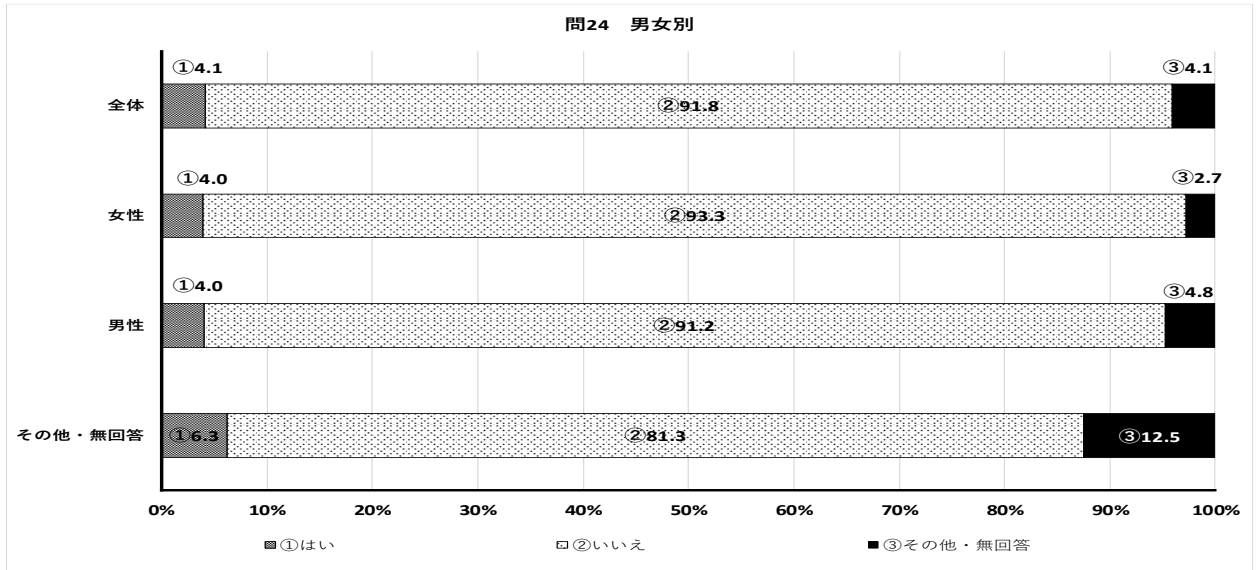
問 23 あなたは、性的少数者(LGBT)という言葉を知っていますか。



全体では、「①はい」が75.1%で、男女別でも同様の結果となっており、性的少数者(LGBT)という言葉を知っている人は多い状況にあります。

年代別では、20歳代から60歳代まで「①はい」が70%を超えている一方、70歳以上では、「①はい」が44.6%となっており、性的少数者(LGBT)という言葉を知っている人の割合が低い結果となりました。

問 24 あなたは今までに自分の身体の性、心の性又は性的指向(同性愛など)に悩んだことがありますか。

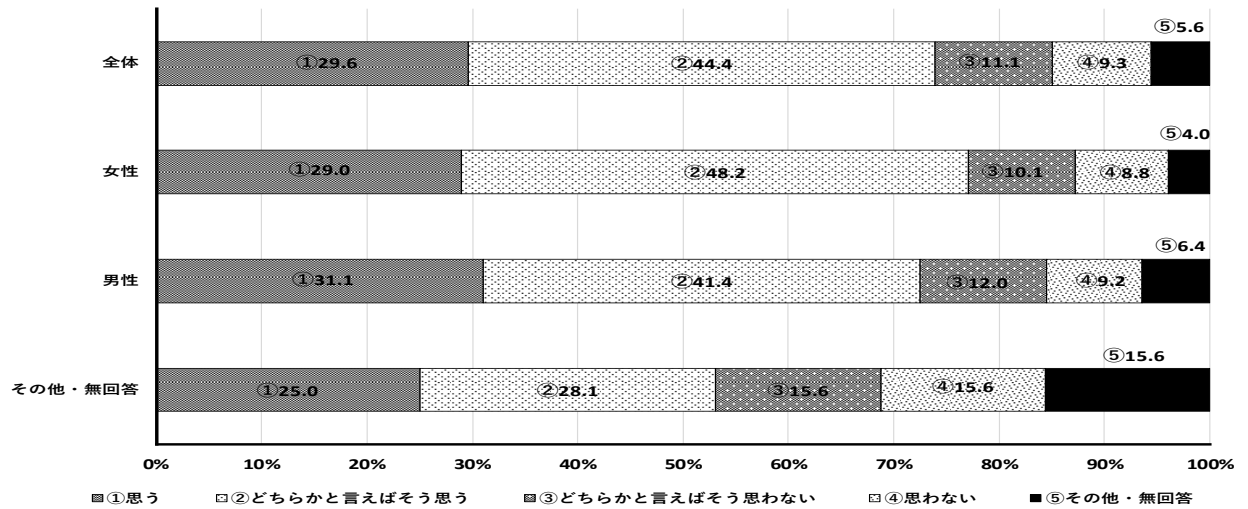


全体では、「②いいえ」が91.8%で、男女別でも同様の結果となっており、今までに自分の性、心の性又は性的指向(同性愛など)に悩んだことのある方は少ない状況にあります。

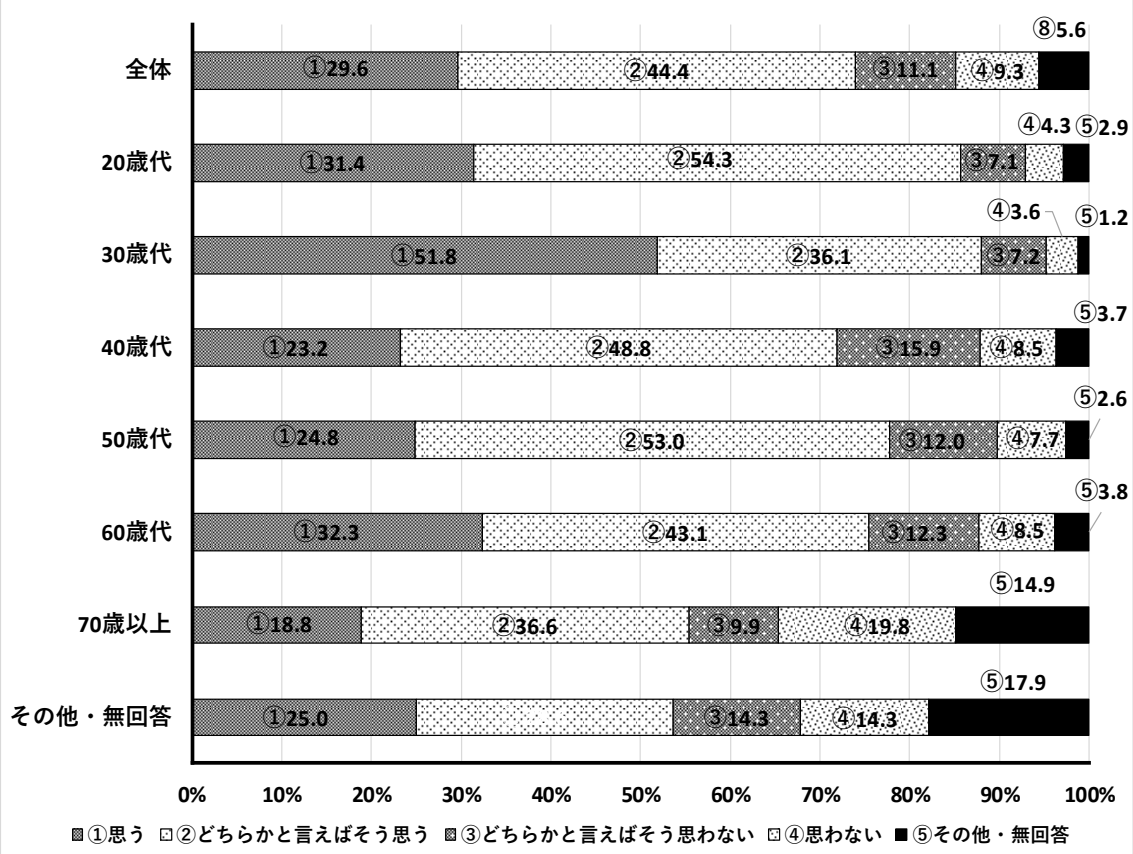
年代別では、20歳代から70歳以上まで「②いいえ」が80.0%を超えている一方、20歳代では、12.9%、30歳代では、9.6%の人が今までに自分の性、心の性又は性的指向(同性愛など)に悩んだことのある結果となり、若い世代に悩んでいる人が多い傾向にあります。

問25 現在、性的少数者(LGBT)の方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

問25 男女別



問25 年代別

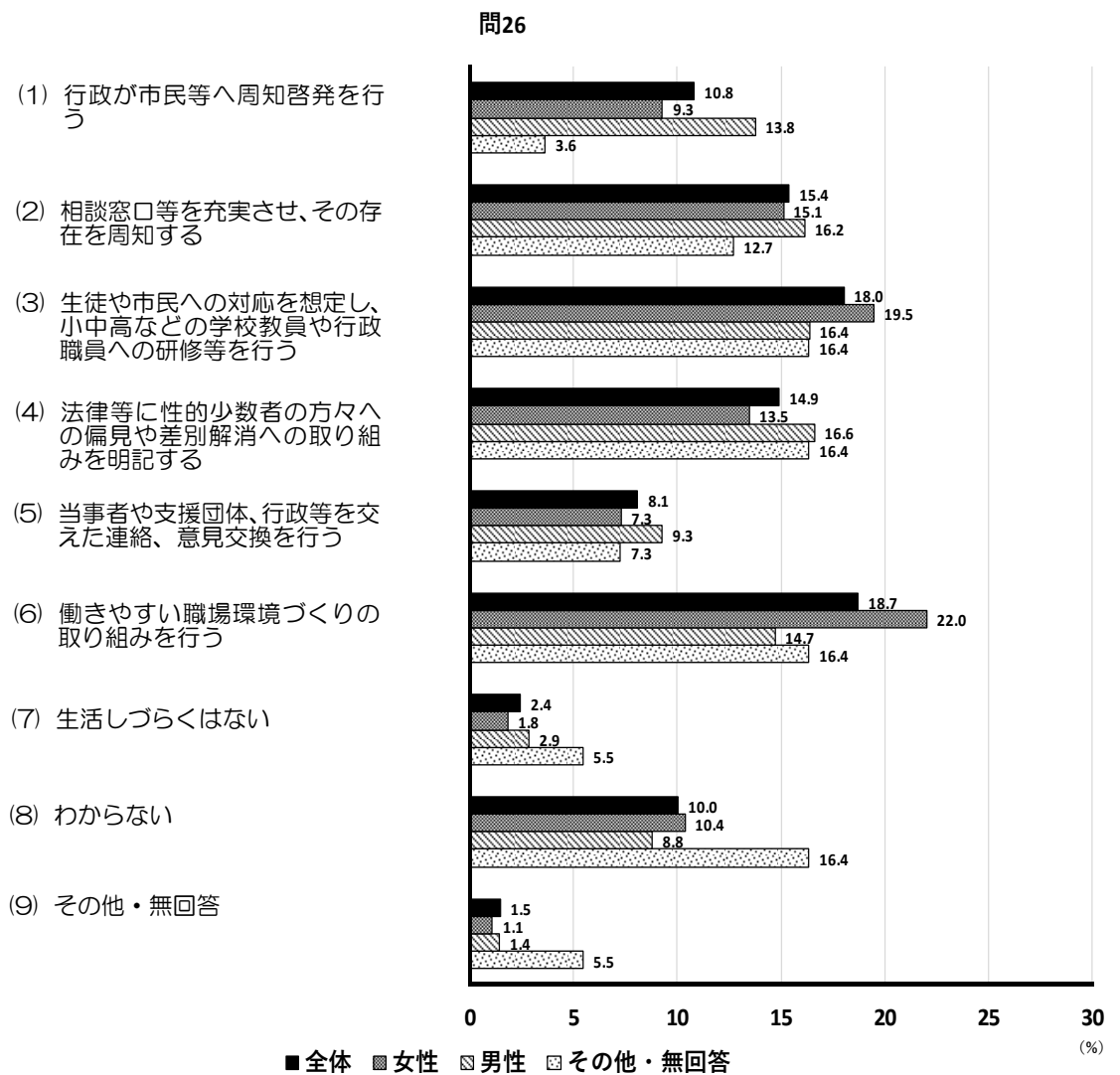


全体では、「①思う」、「②どちらかと言えばそう思う」の合計が74.0%を占めており、7割以上の方が、現在は、性的少数者(LGBT)の方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会であると感じている結果となりました。

男女別では、「①思う」、「②どちらかと言えばそう思う」の合計が女性は、77.2%、男性は、72.5%となっており、女性の方が4.7ポイント高くなっています。

年代別では、「①思う」、「②どちらかと言えばそう思う」の合計は、30歳代が87.9%で最も高く、次いで、20歳代が85.7%となっており、若い世代で高い傾向にあり、70歳以上は、55.4%で最も低くなっています。

問 26 性的少数者の方々に対する偏見や差別をなくし、性的少数者の方々が生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

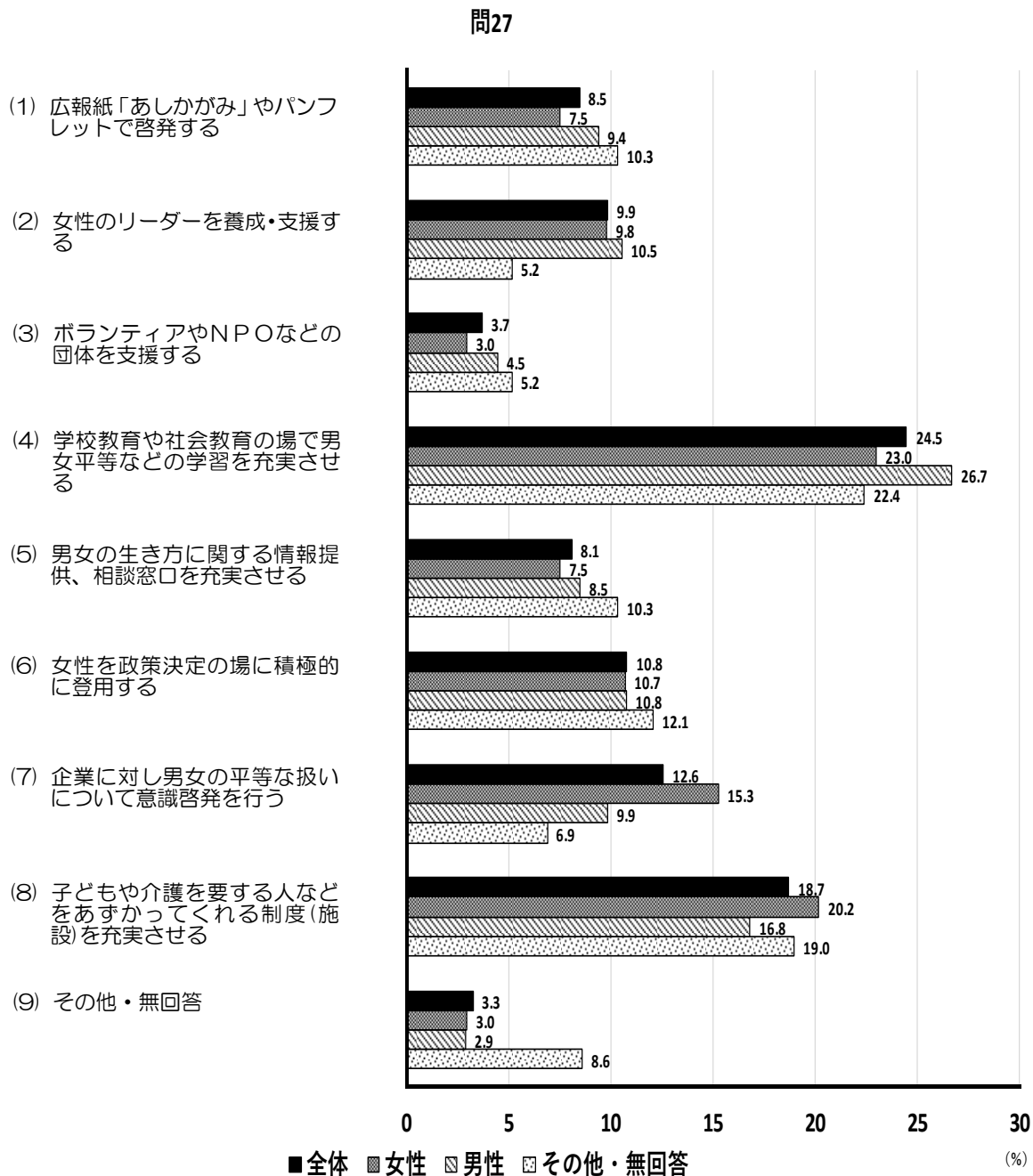


全体では、「(6)働きやすい職場環境づくりの取り組みを行う」が18.7%で最も高く、次いで、「(3)生徒や市民への対応を想定し、小中高などの学校教員や行政職員への研修等を行う」が18.0%となっています。

男女別では、女性は、「(6)働きやすい職場環境づくりの取り組みを行う」が22.0%で最も高く、男性は、「(4)法律等に性的少数者の方々への偏見や差別解消への取り組みを明記する」が16.6%で最も高い結果となりました。

【男女共同参画への取り組みなど】

問 27 男女共同参画社会を実現するために、足利市ではどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。



全体では、「(4) 学校教育や社会教育の場で男女平等などの学習を充実させる」が24.5%で最も高く、次いで、「(8) 子どもや介護を要する人などをあずかってくれる制度(施設)を充実させる」が18.7%となっています。

また、男女別でも「(4) 学校教育や社会教育の場で男女平等などの学習を充実させる」が最も高く、次いで、「(8) 子どもや介護を要する人などをあずかってくれる制度(施設)を充実させる」が高くなっています。

【足利市へのご意見など】

問 28 人権問題や男女共同参画について、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

《主な意見》

- ・一般企業での女性は結婚または出産を機に退職するという暗黙の悪習慣を根絶させて欲しい。企業側だけでなく女性自身の意識も変えるべき。
- ・パンフレットや講演会等での周知啓発は、関心のある一部の人にとどまってしまうと思う。啓発ももちろん大切であるが、学校教育や団体支援など具体的な取り組みを希望する。ただし、丸投げせずに市や町が積極的にかかわって欲しい。
- ・子どもの頃からの教育が大切だと思います。
- ・行政や教育現場による啓蒙活動の効果は、結局、家庭教育の成果の上にはしか得られないと思います。どちらの組織にも、負担をかけず、情報を継続的に家庭へ届ける工夫ができるとういと思います。子どもの教育ももちろん大切ですが、その子どもに接する大人への意識・行動改革が大きな鍵を握っていると思います。(教育関係者より)
- ・同性愛者のパートナーシップ制度の導入を検討していただきたいです。当事者としては、東京などの他の街よりも故郷である足利市でパートナーとの関係を認めていただけると嬉しく思います。
- ・各々それぞれの生活がある、なんでもかんでも参加しろ！というのがそもそも平等ではないのでは？PTA、育成会など子供の為といいつつ過去のをそのまま継続させてるだけで現代の家庭環境にあっていない。同じ市内なのに地域によってバラつきが目立つ。他県から移転してきた人に冷たい、足利の人はもっと広く視野を持つべきだと思う。
- ・私は酷いPMSで月経困難症です。こんなの男性はおろか女性にも分かってもらえず、職場はすべて年上の女性なのでいつもつらいです。女性が働くにはこのような障害もありますので、忘れずにご理解いただけたらと思います。
- ・今は、以前よりも人権について考える機会が増えました。しかし、まだまだ差別は根強く残っていると感じます。専業主婦は認められていても、専業主夫は差別や偏見を受けたり、凝り固まった古くからの「女らしさや男らしさ」に縛られ過ぎていると感じます。私たち一人一人、全体の意識を変えていかなければ「平等、働く環境、育児や家事の分担、セクシュアルマイノリティの方々の自由」は実現しないと思います。
また、足利市はたくさんの海外からの観光客や留学生などもいらっやっています。足利市には欠かせない存在なので、外国人の方々にも住みやすい足利市にしていきたいです。また、障がい者は、誰しものがいつなるか、自分になってもおかしくないものだという意識が必要で、他人事として考えない姿勢が解決への糸口になると思います。
法律をととのえることも大切ですが、それよりも、どうか市民一人一人の意識を変えて行けるような問題を理解していける糸口として、パンフレットや新聞テレビなどで呼びかけていただけたら幸いです。長文失礼しました。

- ・差別をなくすことも大切ですが、男女で仕事の役割を分担していくことも大切です。(お互いを尊重しながら) 我が家では「出来る人がやる」と家事も主人は積極的に手 伝ってくれるので感謝しています。
- ・行政指導の意識啓発が功を奏し、ひと昔前とは社会の風潮も変わっているようです。
- ・同和問題 いまだ続いているの？自分は同和や男女の偏見はあまりわかっていない！ないものとして生活しています。が少しでも御苦労されているならば発表していただきたく、直接講演など、実体験を知っていただく事が必要で、それから理解につなげる事が良い方向に向かう基礎かな？と思います。
- ・中学生の頃、大人や同級生が朝鮮人…部落だから…と笑っているのを見て差別に腹がたったものです。小さい頃から他人を思いやる尊重する啓もう活動が必要だと思います。地球人として生きていきましょう。 60代
- ・高校時代に授業で同和問題を学びました。それまで同和について特に関心も知識もなかったので授業によって同和問題の事が良く分かって良かったのですが、クラスの中にも同和地区出身者がいるかもしれない。それは誰だろう？と心の中で思っていました。差別をしようという訳ではありませんが、同和問題を知った事によって同和地区と私の間に線を引いてしまった気がします。授業で同和問題を取り上げ、何も知らない子ども達に知識を与える事で、私のように感じてしまう子はきっといると思います。同和問題を知らない人間を増やせば差別も減っていくのではないのでしょうか。今も授業で教えているのかは分かりませんが、同和教育はやめておいたほうが良いと思います。
- ・男女は異なるものだが、人間としての価値は一緒です。男性らしさ、女性らしさという文化的な面はとても大切なので、消してはいけませんが、学校や職場、社会で、男も女もゲイとレズビアンも、犬もいれば猫もいるようにお互い当たり前の存在だという多様性を教育にとりいれるべきだと思います。
- ・出身地や男女といった個性？区分？に関係なく、すべての人への人権が尊重されていることが平等だと思っています。少数者なので偏見・差別があるということではなく、どんな人に対しても偏見や差別は生まれる可能性があるもので、市民それぞれに対してのくらしやすさ、働きやすさ等、理解を深める取組として行ってほしいです。
- ・まだまだ子供の学校行事などは母親が行ってあたりまえというのが現実。企業や男性の意識もそうですが、女性もしかたないかと、あきらめている感があります。なので、女性が仕事をするには、子供の病後保育や、介護施設をもっと充実してもらえると働きやすくなると思うのですが・・・。
- ・男性と女性とは同じではないと思います。それぞれの特性を活かして男性は男性であることを活かして活躍し、女性は女性であることを活かして活躍できる。男女共に互いを必要とし補いあえる、そんな世の中になってくれるとよいと思います。

- どんな問題も、完全に解決する事はむずかしいと思います。ただ、本当に悩んでいる人、生死を考える程においこまれている人への手助けは、もっとしていきべきだと思います。又問題解決する事だけでなく、問題に直面している人が少しでもすくわれる制度やきかくを考えてみてほしいと思います。
- お互いを認め合い、尊重しあえばいいと思います。そこに自由や平等がうまれるのではないのでしょうか。性別で考えるのではなく、人としてどうしたらいいか、と考えていく事がいいのではないのでしょうか。
- 男女共同参画については、特に企業・教育において、はやくちからをいれるべきだと思います。
- DV やセクシュアルハラスメントとともに、モラルハラスメントも問題になっていると思います。足利市には「女性の生き方何でも相談」という窓口がありますが、もう少し具体的な相談できる内容 ・女性相談員の方の経歴(例:心理カウンセラーなど) ・相談の回数を増やすなど考慮して明記していただけると安心して利用できると思います。
- 女性議員を増やす。女性の管理職への登用を増やす。このためには女性自身の意欲と安心して子育てできる環境を整えることが大切です。
- いかなる場合でも暴力や差別は悪いことということを法律でも明確にすべき。
- 同和問題については我々世代では誤った偏見あり、子供達に正しい教育で徐々に解消されるかと思う。
- 男女平等は性別によって得意、不得意があり、完全には無理だと考える。男には男の役割、女にはおんなの役割がそれぞれあればそれでいいのではないか？
- 子供に何かあった時(病気等)、女ばかりが早退。それに合わせ急な休みをとる事がまだまだ多い。上司、年齢が上の方々に、「男がそんな事で休むなんて」という考えがまだまだある。言い出せる雰囲気ではないと言う。そのような方達に理解してもらいたい。こんな事ばかりでは女性が上を目指せない。
- 私が育休をとった頃よりは、女性が働きやすい環境になってきているとは思いますが、まだまだ権利として主張しにくいかと思います。どこの家庭も女性が外に出て働く事があたり前になってきているので、家庭、企業の意識改革をこれからも続けていただきたいと思います。子どもたちには、時代と共に考えを変えられる柔軟な教育をしてもらいたいです。
- 子供が病欠の時はいつも母親が仕事を休まないとならない。休む母親にも仕事の立場や人間関係があるのを理解してほしい。子供が病気の時にそばにいてあげたいと思うが、実際、職場ではいい顔をされない。何か良い方法を考えてほしい。ファミサポも当日すぐに利用できないとあまり利用する機会もない。
- ある程度の「法の整備」とその事を正しく理解できる市民が1人でも多く存在していく事が望まれると思います。できれば私もその1人になりたいと思います。

- 学校教育の中で、人権問題の取組はとても大切で重要な事だと思います。ニュース等では、いじめによる自殺者が後を絶ちません。学校の中で子供達の様子をしっかりと見られるような先生の時間の余裕や、問題となっている事を正しく判断できる先生の資質の向上を期待しています。
- 今後は、更に人口減で女性が活躍する場が多くなると思います。しかし、子育てでなかなか職場復帰が出来ないと男女が共に働く事は難しいと思います。国、県、市をあげて、女性の子育ての手助けを積極的に応援して頂ける事を希望します。
- 働きやすい職場環境づくり、学校教育や社会教育の場で男女平等などの学習を、市や行政がもっと力を入れて下さい。
- みんなそれぞれ違うし、それが当たり前なことなんだと小さいうちから教えられると少しずつ社会も変わっていくのかなと思います。男だからこうしなくては！女の子は女の子らしく！のような考え方がなくなれば他の差別も少なくなっていくのでは？と思います。学校の制服、スカートとズボンがえらべるようにしてほしいです。
- 根気よく継続して活動することが重要だと思います。
- 働きたいと思いながらも育児や介護を理由に仕事についていない女性はたくさんいると思います。少子高齢化社会に対応するためにも、働き方改革を進め、女性の活躍の場を増やす機会を増やし、労働力を上昇させることが必要だと思います。足利市の取組みを期待しています。
- 少数者の方が声を出す世の中になってきた。それを無視することなく、自分事として考え理解し、受け入れることが必要に思える。
- 生活の中には、たくさんのニュースやコメントがあり、中には正しくない情報が混在している。市民自ら、人権や男女共同参画について学び、本当に正しくないものは何か見極め、情報を得ることが大切と思う。”
- 幼少期からの意識啓発は必要だと思う。まずは家庭から。親子の会話が一番大切に思うが、子への接し方や説明の仕方などに悩む親は多いと思うので、そのような問題解決につながる講座があるとうれしい。

人権・男女共同参画についてのアンケート

ご協力をお願いします

皆様には、日頃から市政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

足利市では、「人権を尊重する社会づくり」および「男女共同参画社会」の実現に向けて、様々な行政施策を実施しております。

このアンケートは、人権や男女共同参画について皆様が感じていることをお聞きし、今後の市政運営の基礎資料とさせていただくために実施しております。

このたび、足利市にお住まいの20歳以上の方1,500人を無作為で抽出し、市民の代表としてアンケートを送付させていただきました。お忙しいところ大変恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

ご回答は、統計的な処理のみに使用し、個人を特定することや目的以外に利用することはありません。皆様の率直なご意見をお書きくださいますようお願いいたします。

令和元(2019)年9月

足利市長 和泉 聡

ご記入にあたって

- 1 封筒のあて名の方、ご本人がお答えください。(代筆は可能です)
- 2 **インターネット** 又は **調査票に記入し郵送** のいずれかで回答ください。
 - ・調査票で回答の場合は、それぞれ、あてはまる番号を○で囲んでください。
 - ・インターネット回答の場合は、下のアドレスにアクセスして回答してください。
回答の送信は1回のみ有効です。
インターネット回答をされた場合は、回答用紙の郵送は必要ありません。
【アドレス】www.city.ashikaga.tochigi.jp/page/reiwalst-questionnaire.html
- 3 10月7日(月)までに回答してください。
郵送の場合、当日までに投函願います。切手や差出人記載は不要です。
- 4 調査の結果は、まとめ次第、情報紙「かけはし」や市ホームページで概要をお知らせします。

【問い合わせ先】

〒326-0823 足利市朝倉町264番地(市民プラザ本館2階)
足利市役所 総務部 人権・男女共同参画課
TEL 73-8080

【QRコード】



あなた自身について

【性別はどちらですか】（1つだけに○）

- 1 女性 2 男性 3 その他（*）

（*）性別の「3 その他」とは、性的少数者に配慮した選択肢です。
戸籍上の区分とは別に、ご自身の主観によりご記入ください。

【年齢はいくつですか】（1つだけに○）

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代
5 60歳代 6 70歳以上

人権問題について

【人権問題全般】

問1 今の日本は人権（人間が生まれながらにして持っている自由・平等に関する権利）が尊重されている国だと思いますか。次の中から1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 尊重されている
- 2 どちらかといえば、尊重されている
- 3 どちらかといえば、尊重されていない
- 4 尊重されていない
- 5 どちらとも言えない

問2 次の(1)から(18)の人権問題について、どの程度関心をお持ちですか。次の中から1つずつ選んでください。（それぞれ1つだけに○）

	とてもある	少しある	あまりない	全くない	わからない
(1) 女性の人権	1	2	3	4	5
(2) 子どもの人権	1	2	3	4	5
(3) 高齢者の人権	1	2	3	4	5
(4) 障がい者の人権	1	2	3	4	5
(5) 同和問題に関する偏見や差別	1	2	3	4	5
(6) アイヌの人々に対する偏見や差別	1	2	3	4	5
(7) 外国人の人権	1	2	3	4	5
(8) 感染症患者（H I V感染者、ハンセン病患者など）に対する偏見や差別	1	2	3	4	5
(9) 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別	1	2	3	4	5
(10) 犯罪被害者やその家族の人権	1	2	3	4	5
(11) インターネットを悪用した人権侵害	1	2	3	4	5
(12) 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権	1	2	3	4	5
(13) ホームレスに対する偏見や差別	1	2	3	4	5
(14) 性的指向（異性愛・同性愛・両性愛）を理由とする偏見や差別	1	2	3	4	5
(15) 性同一性障がいを理由とする偏見や差別	1	2	3	4	5
(16) 人身取引（性的搾取や強制労働目的）の問題	1	2	3	4	5
(17) 東日本大震災に起因する人権問題	1	2	3	4	5
(18) えん罪被害者の人権	1	2	3	4	5

【同和問題】

問3 同和地区（被差別部落）の住民に対する差別が、今でもあると思いますか。次の中から1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 とてもある
- 2 少しある
- 3 あまりない
- 4 全くない
- 5 わからない

問4 同和問題とのかかわりについて、あなたの考えに近いものを次の中から1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 なりゆきに任せるしか仕方がない
- 2 国や市などが政策で解決する
- 3 同和地区の人々だけの問題なので、自分とは直接関係ない問題である
- 4 「基本的人権」にかかわる問題なので、この問題解決に努力したい
- 5 同和問題のことは知らないのでわからない

問5 同和問題を解決するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。（2つまで○）

- 1 行政（国・県・市）が、市民の人権意識を高める教育・啓発活動に力を入れる
- 2 小・中学校などの人権教育で、同和問題に関する正しい知識を教える
- 3 同和地区の人が、収入の安定や生活力を高めるなど、差別に負けないように努力し、積極的に同和地区外の人に働きかけていく
- 4 差別をなくすための運動を積極的に取り組む
- 5 同和地区の人々が、一カ所にかたまって住まないようにすればよい
- 6 市民が自ら差別や人権について学ぶ
- 7 同和問題のことなど口に出さず、そっとしておけば差別は自然になくなる
- 8 差別をしたり、差別を利用するような場合には、法律で処罰する
- 9 何をしても解決することは難しい
- 10 どうすればよいかわからない

【人権問題への取り組みなど】

問6 人権問題についての理解をより深めるためには、何が効果的（役立つ）と思いますか。次の中から1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 講演会や講座
- 2 学校等での人権教育
- 3 新聞・テレビ・ラジオなど
- 4 広報紙「あしかがみ」・パンフレット・ポスターなど
- 5 ホームページ・メールマガジンなどのインターネット通信
- 6 特にない

男女共同参画について

【男女の役割意識】

問7 「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか。次の中から1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい
- 2 男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい
- 3 男女とも仕事をもち、家庭のことは女性が責任をもつのがよい
- 4 男女の役割は固定せずに、女性が仕事をもち、男性が家庭にいてもよい

問8 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方をどう思いますか。次の中から1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 よい
- 2 どちらかといえば、よい
- 3 どちらかといえば、「性別にとらわれず」がよい
- 4 「性別にとらわれることなく」がよい

問9 あなたの家では、次の(1)から(12)の内容について男女のどちらが担っていますか。次の中から1つずつ選んでください。男性だけ又は女性だけの世帯は、「該当なし」を選択してください。（それぞれ1つだけに○）

	主に男性	え ば 男性	ど ち ら か と い	男 女 同 じ 程 度	え ば 女 性	ど ち ら か と い	主に女性	家族外	該当なし
(1) 食事のしたく	1		2	3	4		5	6	7
(2) 食事の後かたづけ、食器洗い	1		2	3	4		5	6	7
(3) そうじ	1		2	3	4		5	6	7
(4) ゴミ出し	1		2	3	4		5	6	7
(5) 洗濯	1		2	3	4		5	6	7
(6) 買物	1		2	3	4		5	6	7
(7) 家計の管理	1		2	3	4		5	6	7
(8) 家の中のかんたんな修理・修繕	1		2	3	4		5	6	7
(9) 子どもの勉強の指導	1		2	3	4		5	6	7
(10) 乳児・幼児の世話	1		2	3	4		5	6	7
(11) 親の介護	1		2	3	4		5	6	7
(12) 庭の手入れ	1		2	3	4		5	6	7

【男女平等】

問 10 次の(1)から(6)の分野で、現在、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。
次の中から1つずつ選んでください。(それぞれ1つだけに○)

	平等	ある程度平等	ない	あまり平等ではない	ほとんど平等ではない	わからない
(1) 家庭生活	1	2	3	4	5	
(2) 就職の機会や職場	1	2	3	4	5	
(3) 学校教育の場	1	2	3	4	5	
(4) 自治会等	1	2	3	4	5	
(5) 法律や制度	1	2	3	4	5	
(6) 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	

問 11 男女平等の実現のために、今後どのようなことが必要だと思いますか。次の中から1つ選んでください。(1つだけに○)

- 1 法律や制度を変える
- 2 女性の頑張り(経済力や意識改革)
- 3 男性の理解
- 4 就職、昇進、賃金などの不平等をなくす
- 5 子どもの時からの教育
- 6 特に必要なことはない

【地域・社会参画】

問 12 あなたは、次にあげるような活動をしていますか。次の中から選んでください。
(いくつでも可) (あてはまるものすべてに○)

- 1 自然保護、環境美化、リサイクルなどの環境保全活動
- 2 健康づくり、高齢者福祉、障がい者福祉などの社会活動
- 3 PTA、子ども会などの青少年育成活動
- 4 自治会、まちづくりなどの活動
- 5 文化、スポーツ、教養などのサークル活動や講座の参加
- 6 子どもの見守りやパトロール活動
- 7 国際交流・協力活動
- 8 参加していない

問 13 サークル活動や地域活動、ボランティア等に参加したい時に参加できるようにしていただくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。（2つまで○）

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 家事分担等について、家族で十分話し合い、協力し合うこと
- 3 行政が啓発活動を充実させること
- 4 労働時間短縮やボランティア休暇などの休暇制度を普及させること
- 5 子どもや介護を要する人などを一時的にあずかってくれる施設を充実させること

問 14 国、県、市の政策や地域、企業の方針決定への女性の参画のために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。（2つまで○）

- 1 女性議員が増えること
- 2 男女の比率が偏らないようにクォータ制（※人種や性別などを基準に一定の人数や比率を割り当てる制度）などを積極的に導入すること
- 3 市、企業、各関係機関・団体等が、女性の参画を推進すること
- 4 女性の人材等に関する情報の収集・整備・提供に努めること
- 5 女性自身が政策・方針決定の場へ参画できる力をつけること

【ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】

問 15 生活の中で、「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」の優先度について、あなたの希望に最も近いものを次の中から1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 「家庭生活」を優先
- 2 「仕事」を優先
- 3 「地域活動」を優先
- 4 わからない

問 16 生活の中で、「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」の優先度について、あなたが現実に優先しているものを次の中から1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 「家庭生活」を優先
- 2 「仕事」を優先
- 3 「地域活動」を優先
- 4 わからない

【女性が働くこと】

問 17 女性の働き方についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 女性は仕事をもたない方がよい
- 2 女性は仕事をもつことにこだわらなくてよい
- 3 結婚するまでは仕事をもつ方がよい
- 4 子どもができるまでは仕事をもつ方がよい
- 5 結婚や出産後もずっと仕事を続ける方がよい
- 6 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい
- 7 結婚後や出産後も仕事は続けるが、パートタイムにきりかえるなど負担を軽くする方がよい

問 18 女性が結婚・出産後も働き続けるには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。（2つまで○）

- 1 家族の理解や協力（家事・育児などへの参加）
- 2 子どもや介護を要する人などをあずかってくれる制度（施設）の充実
- 3 労働時間の短縮化、フレックスタイム制（※出社、退社の時刻を本人が決めることができる制度）の実施
- 4 育児休業・介護休業などの休暇制度の普及と取りやすい環境づくり
- 5 昇進・昇給などの職場での男女平等の確保

問 19 あなたの職場では、次の(1)から(7)の内容について男女平等になっていますか。次の中から1つずつ選んでください。（それぞれ1つだけ○）

	平等	平等 ある程度	あまり 平等 ではない	男女の差が 相当ある	わからない	該当なし
(1) 募集や採用の条件	1	2	3	4	5	6
(2) 人事配置や昇進	1	2	3	4	5	6
(3) 教育や研修制度	1	2	3	4	5	6
(4) 福利厚生	1	2	3	4	5	6
(5) 定年・退職・解雇	1	2	3	4	5	6
(6) 賃金・退職金	1	2	3	4	5	6
(7) 仕事の内容	1	2	3	4	5	6

【男女間の暴力】

問 20 次の(1)から(11)のようなことが夫婦（交際相手）との間で行われた場合、どのように感じますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から1つずつ選んでください。

（それぞれ1つだけ○）

	どんな場合でも 暴力にあたる	場合もある 場合もそうでない	暴力にあたる場 合もそうでない	暴力にあたる とは思わない
(1) 平手で打つ	1	2	3	
(2) 足でける	1	2	3	
(3) 身体を傷つける可能性のあるものでなぐる	1	2	3	
(4) なぐるふりをして、おどす	1	2	3	
(5) 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3	
(6) いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3	
(7) 見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3	
(8) 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3	
(9) 交友関係や電話やメールを細かく監視する	1	2	3	
(10) 「だれのおかげで生活できるんだ」などと言う	1	2	3	
(11) 大声でどなる	1	2	3	

問 21 もし、あなたやあなたの身近な人に「問 20」のようなことが行われた場合、あなたはだれに（どこに）相談しますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。（いくつでも可）（あてはまるものすべてに○）

- 1 配偶者以外の家族や親族
- 2 友人、知人
- 3 警察
- 4 県や市役所の相談窓口
- 5 民生委員、人権擁護委員
- 6 同じ経験をした人
- 7 医師・カウンセラー
- 8 どこ（だれ）にも相談しない

問 22 ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者等からの暴力）やセクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。（2つまで○）

- 1 相手を対等なパートナーとしてみるための意識啓発
- 2 不快な言動や行動に対し、はっきり意思表示できる（ノーと言える）環境と意識づくり
- 3 苦情や悩みについて、対応できる相談体制の充実
- 4 重大な人権侵害であるという認識をもつための啓発
- 5 DVやセクシャル・ハラスメントに対する罰則を強化した法律や規則等の整備

【性的少数者（LGBT）】

* 性的少数者（LGBT）とは、「女性の同性愛を表す **L e s b i a n**（レズビアン）、男性の同性愛を表す **G a y**（ゲイ）、両性愛を表す **B i s e x u a l**（バイセクシュアル）、「からだの性」と「心の性」の不一致等を意味する **T r a n s g e n d e r**（トランスジェンダー）の頭文字をとった言葉です。

問 23 あなたは、性的少数者（LGBT）という言葉を知っていますか。（1つだけに○）

- 1 はい
- 2 いいえ

問 24 あなたは今までに自分の身体の性、心の性又は性的指向（同性愛など）に悩んだことがありますか。（1つだけに○）

- 1 はい
- 2 いいえ

問 25 現在、性的少数者（LGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思いますか。

あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。（1つだけに○）

- 1 思う
- 2 どちらかと言えばそう思う
- 3 どちらかと言えばそう思わない
- 4 思わない

問 26 性的少数者の方々に対する偏見や差別をなくし、性的少数者の方々が生しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。

あてはまるものを2つまで選んでください。(2つまで○)

- 1 行政が市民等へ周知啓発を行う
- 2 相談窓口等を充実させ、その存在を周知する
- 3 生徒や市民への対応を想定し、小中高などの学校教員や行政職員への研修等を行う
- 4 法律等に性的少数者の方々への偏見や差別解消への取り組みを明記する
- 5 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換を行う
- 6 働きやすい職場環境づくりの取り組みを行う
- 7 生活しづらくはない
- 8 わからない

【男女共同参画への取り組みなど】

問 27 男女共同参画社会を実現するために、足利市ではどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。(2つまで○)

- 1 広報紙「あしかがみ」やパンフレットで啓発する
- 2 女性のリーダーを養成・支援する
- 3 ボランティアやNPOなどの団体を支援する
- 4 学校教育や社会教育の場で男女平等などの学習を充実させる
- 5 男女の生き方に関する情報提供、相談窓口を充実させる
- 6 女性を政策決定の場に積極的に登用する
- 7 企業に対し男女の平等な扱いについて意識啓発を行う
- 8 子どもや介護を要する人などをあずかってくれる制度（施設）を充実させる

【足利市へのご意見など】

問 28 人権問題や男女共同参画について、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

ご意見・ご要望は、この欄に、ご記入ください

『ご協力ありがとうございました』

人権・男女共同参画に関する市民意識調査報告書

令和2年3月

編集・発行 足利市総務部 人権・男女共同参画課

〒326-0823 栃木県足利市朝倉町264番地

男女共同参画センター

TEL 0284-70-8600／73-8080

FAX 0284-73-8066

e-mail jinken@city.ashikaga.lg.jp